

150101ビルメンテナンス業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労働 者規 模
2022	2	10 ～ 12	当該施設の保守点検業務を行う被災者が、建物2階の床面の開口部から約105メートル下の建物1階の床面へ墜落し、頭部を負傷した。その後、医療機関に搬送されたが、数日後に死亡した。災害発生時、当該施設の改修工事に伴い、足場の解体作業を行っていた工事業者が、解体した足場部材の搬出を行うために開口部の蓋を取り外していた。	414	1	10～ 29
2022	2	10 ～ 12	3階建て公共建築物の3階窓の掃除作業において、被災者は外開き窓（内付けサッシ）の室外にあるステップ（奥行約51cm×幅約89cm）上で窓ガラス及び窓枠周辺の掃除作業中、室内の脚立上にいたもう一人の労働者が脚立上でバランスを崩し、被災者が清掃している外開き窓を誤って押し開けてしまったため、被災者はその反動で押し出されるように8.1m下へ墜落し死亡したものの。	418	1	100 ～ 299
2022	3	12 ～ 14	地上5階地下1階マンションの清掃兼管理を行う被災者が、地下1階の床、地上から下りる階段の下で、頭から血を流し倒れている姿を巡回管理者に発見された。意識不明で搬送後、同日中に死亡。階段は地上入口から12段、踏面27、蹴上20、幅93（単位cm）、コンクリ製で手すりはなかった。水道メーターの検針のため階段を下りる途中で転落し頭を打ったと推測。	413	1	500 ～ 999
2022	5	8 ～ 10	災害発生地である商業施設には、段ボール回収のための段ボール庫が設けられており、1日2回、ごみ収集車による段ボール回収が行われていた。被災者は商業施設の外周清掃を行っていたが、ごみ収集車の後進中に段ボール庫の前に立ち入り、後進してきたごみ収集車に押された段ボール庫	221	7	10～ 29

			の扉と外壁との間に挟まれた。			
2022	6	14 ～ 16	研究所内のごみの収集運搬の受託業者の労働者である被災者は、朝から研究所内の10か所のごみ集積場をトラックでまわり、ごみを回収し、同敷地内の最終集積場まで運搬する業務（1人作業）に従事していた。3回目の回収を終えた昼過ぎに、被災者の運転するトラックが詰所近くの避難階段、駐輪場に激突し、車内で動けなくなっている被災者が発見された。その後まもなく救急搬送されるも、搬送先で死亡した。	715	11	30～ 49
2022	7	16 ～ 18	17時からの施設内の定期巡視の際、幅約3mの土手において、午前中に刈った草の後処理を行っていたところ、誤って川に転落したもの。被災者は2日後に数キロ離れた河川内で水死体となって発見された。	711	10	30～ 49
2022	7	8 ～ 10	日常清掃を委託されたマンションにて植栽剪定作業を行っていた被災者が、脚立の横で頭部に剪定ばさみが刺さった状態で倒れているところを近所の者が発見した。被災者は意識不明の状態であり、救急車で病院に搬送され治療が行われたが、後日、死亡したもの。	371	1	300 ～ 499
2022	7	14 ～ 16	民営葬祭場（事業場Aから被災者ほか1名配置）で被災者は巡回清掃と祭壇飾り付け補助を行う。巡回で1・2階間の階段を下りる際、中間の踊り場付近から、1階床に頭から転落した。直後に1階で作業中の民営葬祭場職員に発見されて救急搬送後、当日中に死亡（階段転落での頭部打撲傷からの頭蓋内損傷による低酸素脳症）。階段は蹴上げ18cmで踊り場高さは8段分・144cm（手すりあり）。	413	1	30～ 49
2022	8	16 ～ 18	中学校の廊下及び内部階段箇所のワックスをかける作業を3名の労働者で行っていた。2日目の作業が終了し、被災者ともう1名の労働者が車で休憩していたところ、被災者が車から降りて徒歩で移動した。その後、正面玄関箇所で倒れている被災者が発見された。病院に搬送され、治療を受けていたが、死亡した。	715	11	500 ～ 999
2022	8	8 ～	清掃作業を行う労働者が、就業先のマンションにおいて、清掃用具を携行してエレベーターに10Fまで乗車後、高層階から墜落し地上で発見され	413	1	10～ 29

		10	たもの。			
2022	8	10 ～ 12	被災者は、事業場Aに派遣され同社の指示のもと、クリーンセンター内で一般廃棄物をピット内へ投棄する作業を行っていた。被災者は投棄作業のためピット開口部付近でパッカー車の監視業務を行っていたが、何らかの原因でパッカー車のテール部に挟まれ、挟まれたことに気が付いた運転手がテールを再び上昇させたところ、支えを失った被災者が8メートル下のピットへ転落したもの。	221	7	30～ 49
2022	10	18 ～ 20	被災者は業務のため事務所入り口を出て、駐車場に向かおうとしたところ、敷地北側の境目にあった岩（径約130センチメートル）に躓き、約1メートル下がった地面に頭部を強打したもの。災害発生時刻は夕刻ごろであり、周囲には照明がなく、足元は見えにくい状況であった。	417	2	1～9
2021	4	12 ～ 14	被災者は警備員で、同僚と引継をしたり、警備業務で不特定多数の人間と接触していた。同僚が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、被災者は医療機関を受診した。その後、発熱等の症状が現れ、PCR検査で陽性となり、新型コロナウイルス感染症と診断された。以降、自宅療養していたが、自宅で新型コロナウイルスによる肺炎で死亡した。	911	90	50～ 99
2021	4	8 ～ 10	墜落防止措置の講じられていないビル3階テラス部端で排水口（高さ約9.7メートル）の清掃作業を行っていた被災者が地面まで墜落したものの。	418	1	100 ～ 299
2021	4	6 ～ 8	新型コロナウイルス感染症による。被災者は医療機関においてマスク及び手袋を着用して清掃業務に従事していたが、入院患者に新型コロナウイルスの感染者が認められたため、当病院においてPCR検査を受けた。PCR検査の結果が陽性であったことが判明し、翌日入院したが、当日に容態が急変したため、転院し、後日死亡した。	911	90	100 ～ 299
2021	5	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者が清掃業務を行っている病院内で新型コロナウイルス感染者が発生した。被災者は体調不良のため医療機関Aを受診、翌日別の医療機関Bで受けたPCR検査の結果が陽性判定となったため、同日医療機関Cに入院したが数日後死亡した。	911	90	100 ～ 299

2021	5	16 ～ 18	ビルにて警備を行っている労働者が、警備時間中に墜落したものの。	415	1	300 ～ 499
2021	6	20 ～ 22	湖沿いの道において、停電復旧工事の交通誘導員として入場していた被災者が、作業途中に行方不明となったもの。翌日に湖底で被災者が発見されたもの。災害発生当日、暴風雨であり、停電復旧作業の都合上明りを全て消されている状態であった。	713	10	300 ～ 499
2021	7	10 ～ 12	職員用階段で、8階から下階に向かってモップを使用した壁面の埃取りとウエスを使用した手すりの拭き掃除を行っていた被災者が、2階踊り場で右側頭部を打って亡くなっていたもの。階段踏み面28cm、蹴上19cm、幅120cm、勾配35度。死因は脳挫傷とのこと。	413	1	300 ～ 499
2021	7	12 ～ 14	マンションの管理人である被災者は、担当しているマンション敷地内の巡回業務で、屋上の点検業務をしていたところ、屋上の端から約25メートル下のコンクリート地面に墜落したものの。	416	1	500 ～ 999
2021	7	8 ～ 10	被災者は窓の清掃作業のため、建物の地上5階上部（高さ約39m）にある鉄骨にメインロープ（長さ約50m）を二つ折りにして緊結後、メインロープに取り付けたブランコに乗り降下した。その後、ドスンと音がしたため、同僚が地上を見たところ、ブランコとともに被災者が落下していた。	379	1	1～9
2021	8	16 ～ 18	オフィスビルの清掃業務を行っていた被災者が、5階と6階の間の踊り場で3か所の嘔吐物とともに倒れているところを管理人に発見され、救急搬送されたが3日後に死亡したものの。	416	2	50～ 99
2021	8	8 ～ 10	学校の4階の窓ふき作業を行っていた被災者が、4階付近から墜落したものの。足場等の設置はなく、ヘルメットや安全帯の着用もしていなかった。	415	1	10～ 29
2021	9	2 ～	百貨店店内1階警備待機室内の中2階で仮眠を終えた同僚労働者が、中2階から1階に向かう階段下の1階床面で頭部から血を流して倒れている被	413	1	50～ 99

		4	災者を発見したもの。			
2021	9	14 ～ 16	親会社が運営するラブホテルにおいて、客室の水道故障を修繕するため、被災者は同僚1名とともに現在使用されていない同ホテル別棟の給水設備から修理に使えるような部品を調達するために照明のない建物内を懐中電灯を手に物色していたが、2階から1階に向かう内部階段で転落し、左側頭部を強打して意識を喪失しているところを発見され、病院に搬送されたが、後日死亡したもの。	413	1	30～ 49
2021	9	0 ～ 2	被災者は清掃作業員として朝に同僚4名とともに清掃委託元へ向け社用車で会社を出発し、現地で清掃業務を行った後、夕方に社用車で帰社した。同乗した同僚の中にコロナ感染者が出たことが翌日に判明し、被災者は濃厚接触者として自宅待機となり、後日、陽性反応が出た。その後も自宅療養していたところ、容態が急変し死亡したものである。	911	90	100 ～ 299
2021	9	10 ～ 12	被災者が給食センターの敷地内でゴミ拾い業務を行っていたところ、敷地内に保管された牛乳パックの回収業務を行うために別の事業場の労働者が運転、後進させていたトラック（最大積載量：1500キログラム）にひかれ、死亡したもの。なお、被災者の所属事業場は別の場所にあるが、給食センターに直接出勤し、作業後に帰宅する作業形態であった。	221	7	300 ～ 499
2021	10	8 ～ 10	ビル玄関前スロープ付近で頭部及び鼻から血を出している被災者を他事業場職員が発見。被災者が清掃に入った5階事務室は、生体認証及びセキュリティカード入室する仕組みであったが、当該社員のカード不良によりマスターキーで入室し、アンチパスパック（退出時には入室とおなじカードをかざして退出する仕組み）により退出できない状況になったと推測される。	418	1	500 ～ 999
2021	10	12 ～ 14	被災者は木造2階建て個人住宅の屋根に設置済の融雪装置の点検と屋根瓦に生えた苔の除去作業を屋根上で行っていた。被災者は金属工具のラチェットレンチを使用して苔の除去作業を行っていたが、屋根軒先から6.95m下の地面に墜落した。	415	1	1～9
			被災者が災害発生場所の宿直室内で意識不明の状態で見つかった。被災者			

2020	1	16 ～ 18	は災害発生場所で警備業に従事していたところ、状況から、前日の巡回中に転倒し、地面に後頭部を打ちつけ、右側頭葉脳挫傷等の傷害を負ったものと思われる。その後、被災者の意識が戻らず、被災者は後日死亡するに至った。	719	2	～ 299	100
2020	1	12 ～ 14	施設の管理業務を行っていた被災者は、昼休憩の時間となり自宅に帰るため、当該施設の駐車場を歩いているときに地面の圧雪アイスバーンで滑って転倒し後頭部を打撲した。その後、自宅に戻り昼食をとってから業務へ復帰したが、業務交代時に同僚がトイレで倒れていることを発見して病院へ搬送後、別の病院へ転院となり入院したが、後日頭蓋内損傷で死亡した。	719	2	50～ 99	
2020	2	12 ～ 14	建物の窓ガラス清掃中の作業者が、2階窓のサンと壁の厚みの部分に足を置き、窓の外側を清掃していたところ、4.85m下の地面に墜落したものの。	418	1	～ 299	100
2020	3	16 ～ 18	被災者は、警備員として勤務しており、現場を自転車で巡回中、信号のないT字路を横断したところ、左の脇から出てきたトレーラーに引かれ死亡したものの。	221	17	50～ 99	
2020	4	0 ～ 2	被災者は自転車に乗って巡回途中にある久宝寺管理事務所へ向かう途中に、交差点で南西方向に左折してきた車両にはねられたもの。脳死状態で病院へ運ばれたが、後日死亡が確認された。	231	17	300 ～	
2020	7	14 ～ 16	災害復旧工事清掃作業のため、事業場から所在する店に、同僚が運転する社用車の2tトラックの助手席に乗り向かっている途中、渋滞で停車していた前方の自動車3台に追突した。運転手は軽傷であったが、被災者は外傷性窒息のため死亡した。	221	17	1～9	
2020	8	2 ～ 4	被災者は、工場建屋内の設備の清掃作業に従事し、終業後、体調が悪そうに更衣室へ向かっていた。それを見た同僚が被災者を横になって休ませる等した後、事業場から被災者を病院へ搬送したが、翌日に容態が急変し、死亡した。死亡原因は、熱中症による多臓器不全と診断されている。	715	11	10～ 29	
			現場敷地内にて、被災者がマンション屋上に上るため、マンションの外階				

2020	10	12 ～ 14	段の庇（13階から14階に上がる階段の庇）の上から屋上梯子に移動はしごを架けて登ろうとしたところ、移動はしごの上部が外れ、庇の上から地上1階に墜落し、死亡した。	371	1	1～9
2019	1	10 ～ 12	被災者はブランコ作業にて5階建てビルのガラス清掃を行っていたところ、メインロープが支持物から外れ、ライフラインを設けていなかったためビル5階部分より墜落し、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	379	1	1～9
2019	1	8 ～ 10	建築物屋上にて、高所ガラスの清掃作業を行う準備作業を行っていたところ、墜落して死亡したもの。	418	1	30～ 49
2019	2	14 ～ 16	9階建てビルの窓ガラス清掃作業を行うため、屋上室外機周辺の鉄架台を吊元としてブランコを設置し作業を行う際、吊元強度不足のため、ブランコとともに地上に墜落したもの。（墜落高さは不明確であるが、作業面の建物高さは28.815m）	379	1	1～9
2019	3	10 ～ 12	被災者が、ビルの清掃作業中、1階と2階の間の階段の踊り場に仰向けに倒れているところを発見された。（脳挫傷により、3日後に死亡した。）	413	1	50～ 99
2019	5	10 ～ 12	被災者はマンションの管理人。マンションの敷地内で倒れているところを発見された。当該災害の目撃者はおらず、4階の踊り場に清掃道具が置かれていたこと及び被災者が駐輪場で倒れていたことから、被災者は4階から地上1階まで墜落したと思われる。	413	1	100 ～ 299
2019	6	8 ～ 10	被災者は、オフィスビル1階外部の植込み脇の保管場所から窓拭き用の清掃用具を取り出していたところ、植込み横の開口部から約6m下の地下1階の床に墜落した。	416	1	30～ 49
2019	6	8 ～ 10	被災者はマンションの2階共用廊下において清掃作業を行っていたが、同廊下外側の手すり壁を乗り越え、清掃作業箇所でないエントランスホールの屋根部（高さ3.75メートル）に乗り移った後、屋根部より墜落し死亡した。	415	1	300 ～ 499

2019	7	16 ～ 18	被災者は、立体駐車場の蛍光灯交換作業（高さ2.3m）を行っていた。 脚立1段目（高さ21cm）に足を引っかけた状態で倒れている状態で発見された。近くに新しい蛍光灯があった。被災者の身長168cm、ヘルメット着用なし。なお、被災者は単独作業を行っており、災害発生直前の状況を目撃していた者はいない。	371	1	30～ 49
2019	8	10 ～ 12	4階建建屋の屋上に設置された電気計器の検針時に、同屋上に設置されたファンの原動機から異音が聞こえたことから不具合の報告のため、当該原動機の写真を遠景から撮影しようとした際に、カメラを構えたまま吹き抜けとなっている同屋上の作業床の端に背を向けて歩きつづけたことから、当該作業床の端から3階床まで7.65メートル墜落し、死亡したものの。	414	1	10～ 29
2019	9	10 ～ 12	マンションの管理人である被災者は、工事業者が前日に修繕を行った箇所（屋上、エキスパンションジョイント部）の確認を行うため、14階へ向かったところ、屋上への導線となる屋根の端部から1階エントランス部まで転落し死亡したものの。	415	1	100 ～ 299
2019	10	12 ～ 14	ボイラー管理の業務を担当していた被災者が、豪雨によって周辺を流れる川が氾濫しているなか屋外で何らかの業務に従事していたところ、氾濫水によっておぼれて、別の事業場の労働者1名とともに死亡した。	713	10	100 ～ 299
2019	10	8 ～ 10	工場の清掃作業で3階踊り場から2階の方へ下がりながら階段をモップ掛けしていたところ、2階踊り場から上へ1.8mの段（9段目）からバランスを崩し、2階踊り場まで転落し、頭部を強打し、死亡した。	413	1	10～ 29
2019	10	22 ～ 24	施設内詰所において業務中、同僚にナイフで刺された。	911	90	10～ 29
2018	1	16 ～ 17	脚立を使用してカーテンの取付作業中、約2メートルの高さから墜落し、意識を失ったが、周りの声かけにより意識を取戻した。腰部に痛みを訴えたため病院に搬送され入院していたが、病院内で死亡したものの。	371	1	300 ～ 499
			木造2階建て賃貸住宅のリフォームに伴い請け負った室内清掃業務を行うため、被災者は1月11日の朝に小型発電機、延長コード等を持って、1			

2018	1	16 ～ 17	人で現場に向かったが、翌日の朝に会社に出勤してこなかったことから、事業者等が清掃業務を行っていた現場を確認に行ったところ、室内で死亡している被災者を発見した。室内にはガソリンエンジン式の小型発電機が置かれており、窓はすべて閉められた状態であった。	514	12	1～9
2018	1	16 ～ 17	業務先での清掃業務を終えて、自家用車で事業場へ戻っていたところ、県道において、近隣の建設現場で作業を終えた作業員の運転する車がスリップして対向車線にはみ出し、被災者の自家用車に正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2018	1	8 ～ 9	病院の施設管理業務に従事していた被災者が、事務所から屋外のゴミ庫へゴミを持って歩いて行った直後、ゴミ庫の前の氷が張った地面の上で仰向けに倒れ、いびきをしている状態で発見された。被災者は後頭部を地面に打ち付けて、外傷性くも膜下出血をおこし、その後容態が悪化して死亡した。被災者は従来より右膝を痛めておりうまく歩行できず転倒しやすかった。	719	2	10～ 29
2018	2	16 ～ 17	中学校のガラス製の屋根の清掃作業中に、ガラスを踏み抜き、高さ約15mから地面に墜落して死亡した。屋根は、網入りガラス約150枚（1枚あたり約1平方メートル）がそれぞれ金属枠（幅6センチメートル）に碁盤の目状にはめこまれていた。被災者は、金属枠の上で作業をしていたが、ガラスに乗った際、踏み抜いた。屋根には歩み板、防網、安全带取付設備、手すり等は未設置で、被災者は保護帽、安全带を未着用であった。	415	1	10～ 29
2018	2	14 ～ 15	被災者は集合住宅の清掃員であり、共有部分の清掃を担当していた。終業時刻を過ぎても事務所に戻ってこないことから同事業場所属の管理人が捜したところ、地下1階に降りる階段の途中で倒れている被災者を発見したもの。地下1階に降りる階段上を清掃道具置場として利用していた。	413	1	100 ～ 299
2018	3	16 ～ 17	自衛隊演習場内にある「市街地訓練所」での訓練により生じた破片の清掃や損傷した訓練施設の修繕を自衛隊の担当者の管理のもと行う作業に従事。被災者らは作業車両にて市街地訓練所を出たが、集合場所への被災者らの戻りが遅いので同僚ら探しに行くも荒天のため被災者らの所在確認が	713	10	30～ 49

			出来なかった。捜索にあたっていた自衛隊員が、演習場内の調節池で死亡している被災者2名を発見したものの。			
2018	3	16 ～ 17	自衛隊演習場内にある「市街地訓練所」での訓練により生じた破片の清掃や損傷した訓練施設の修繕を自衛隊の担当者の管理のもと行う作業に従事。被災者らは作業車両にて市街地訓練所を出たが、集合場所への被災者らの戻りが遅いので同僚ら探しに行くも荒天のため被災者らの所在確認が出来なかった。捜索にあたっていた自衛隊員が、演習場内の調節池で死亡している被災者2名を発見したものの。	713	10	30～ 49
2018	4	16 ～ 17	被災者は、午後からモール店舗屋上のダクトスペース外壁のガラリの錆取り作業を行っていた。被災者が作業から戻ってこないため、探索を開始したところ、約2.5m下のダクトスペース（ダクトが入っている空間）の地下1階のダクトの上に倒れている被災者が発見された。	414	1	10～ 29
2018	5	8 ～ 9	前日に発生した機械故障の復旧作業のため、県道を自動車で走行し現場へ向かっていたところ、勾配のある緩いカーブ箇所において、対向車がスリップしセンターラインを越えて対向車線に進入、対向車線を走行していた被災者の自動車に衝突したものの。被災者は助手席に同乗していたものであるが、衝突により腹部を強打し、腸管破裂により死亡した。	231	17	10～ 29
2018	5	10 ～ 11	被災者がビルの5階から4階にかけて階段をモップ掛けにより清掃していたところ、10段下（高さ約1.7m）の踊り場へ転落した。被災者は意識不明により、救急搬送されたが、後日死亡した。	413	1	100 ～ 299
2018	5	10 ～ 11	被災者が清掃作業場所であるマンションの外階段をハンドバキュームを持って2階から1階へ移動中に1階まで転落した。	413	1	100 ～ 299
2018	7	8 ～ 9	10階建てマンションの窓ふきのため、被災者は1人で屋上からブランコを設置した後、何らかの理由で約25.5m下のエントランスの屋根に墜落し、その後、約3.5m下の地上に墜落したものの。	418	1	10～ 29
2018	7	12 ～	擁壁上に設置されているネットフェンスに絡んでいる雑草を擁壁上（高さ約2.4m）で撤去作業中に、墜落したものの。救急搬送後、死亡が確認さ	418	1	30～

		13	れたもの。			49
2018	9	18 ～ 19	被災者は一人で災害発生場所である個人宅の1階及び2階の屋根の雨どいの清掃作業を開始したが、同宅敷地脇の水路の中で、意識を失って倒れているところを発見され、病院に搬送されたが死亡が確認された。	415	1	1～9
2018	10	6 ～ 7	店舗敷地内の2階階段部で倒れている被災者が発見された。その後、救急車で病院に搬送されるも同日死亡したもの。	413	1	300 ～ 499
2018	11	10 ～ 11	出張による定期清掃を実施する施設において、被災者は、脚立の天板から2段目（197センチメートル）の位置で、電球、電球傘及びはりの雑巾がけを行っていたところ、バランスをくずして墜落し頭部及び肩をコンクリートの床に強打し、右頸部骨折、右肩甲骨骨折等の重傷を負った。後日搬送先の病院で死亡した。	371	1	10～ 29
2018	12	12 ～ 13	マンションの清掃業務終了後、共用棟内のロッカー室において、地下へ通じる階段下に被災者が倒れているのを同僚が発見した。	413	1	300 ～
2017	1	14 ～ 15	2階建てビルのガラス清掃業務の現場において、ガラス外面の清掃のためロープ高所作業を行う予定であった被災者が、路上に倒れている状態で他の作業員に発見された。	418	1	1～9
2017	1	14 ～ 15	9階建てのオフィスにおいて、屋上からロープを垂らし、所謂ブランコ作業で各階のベランダに乗り移ったうえ、窓の清掃作業を行うにあたり、高さ22.70メートルの建物8階ベランダ付近で作業中、誤って墜落し、玉砂利と庭石のある中庭に落下した。	379	1	10～ 29
2017	2	12 ～ 13	約3メートルの市道で営業業務終了後、社用車（軽乗用）で帰社途中に、事業場までの経路を間違え行止まりの道に進入し、線路脇のコンクリートブロックに衝突。社用車のハンドルに胸部を打ち付け、心臓破裂で死亡。	231	17	1～9
2017	2	6 ～	ビルメンテナンス会社の清掃作業員がビルの内部階段でモップを用いての	413	1	1～9

		7	清掃作業中に転倒し踊り場に転落，頭蓋骨骨折，脳挫傷を負った。			
2017	3	6 ～ 7	被災者は雑居ビルの道路面窓ガラス清掃を、他の作業者を含め3名で行っていたところ、6階部分から道路面に墜落して死亡した。窓ガラス外側部分には幅36センチメートルのキャットウオークが設置されており、このキャットウオーク上で作業をしていた。	416	1	1～9
2017	5	10 ～ 11	被災者は、テナントビルの管理人業務等を行う労働者である。当日は、天井裏にある空調設備のダイヤル設定（温度調整）を行うため、脚立（上から2段目の踏ざん、高さ1.13m）に乗り、天井の点検口に頭部を入れた体勢で作業していたところ、バランスを崩して仰向けに墜落し、後頭部を強打した。ヘルメットの着用なし。	371	1	100 ～ 299
2017	7	10 ～ 11	被災者は、災害発生現場であるマンション内の清掃業務を行っていた。被災者は敷地内にある雨水枡（タテ45cm、ヨコ45cm、深さ80cm）の蓋を開け、枡内に自身の右腕を入れ、そのまま枡内を覗き込む形で上体を入れた後、枡内に頭から落ち込んで脱出できなくなり、雨水枡内部に溜まっていた水（水位約12cm）を吸入したことにより、溺死した。	414	10	300 ～
2017	8	16 ～ 17	管理しているマンションの外階段の踊場（9階から10階部）において、脚立を用いて作業をしていた際に、その踊場から約2.5メートル下の地上に墜落し、全身を強打した。	418	1	1～9
2017	9	4 ～ 5	構内の作業場に向かうために自転車で移動中、交差点を横断していたところ、直進してきたトラックと衝突して転倒し、そのままトラックの下敷きとなり、右後輪部で轢かれた状態で発見された。	221	6	10～ 29
2017	10	10 ～ 11	3階建て居住用マンションの共用部の清掃業務を行っていた被災者が、何らかの原因で1階の庇の屋上部分にて身動きが取れない状態になり、その後救急車にて搬送されたが死亡した。	418	1	300 ～
2017	11	10 ～ 11	11階建の建物窓ガラスを清掃中、地上まで約3.1メートル墜落した。	418	1	1～9

2017	12	8 ～ 9	マンションの外階段（4階から5階への昇降部分）において、被災者がモップを使用して清掃作業中に4階まで墜落した。	413	1	300 ～
2017	12	14 ～ 15	被災者は建物の2階の窓ガラスの清掃を行うため、窓のさんの上に立って作業を行っていたところ、体勢を崩し、6.5m下の地上へ墜落した。被災者は着用していた安全帯のカラビナ（道具保持用）にロープを通し、同僚へ持っておくよう指示し、作業を行っていたものの、被災者が墜落した際、同僚は墜落時の衝撃に耐えることができず、ロープを途中で離れた。	419	1	10～ 29
2017	12	10 ～ 11	被災者は集合住宅の清掃員であり、当日は同僚と二手に分かれ、柄の長いほうきを用いて共用階段及び玄関前スペースのすす払い（蜘蛛の巣除去）を行っていた。被災者が降りてこないことから、同僚労働者が様子を確認しに行ったところ、4階玄関前（5階階段下）に倒れている被災者を発見した。	413	1	100 ～ 299
2017	12	6 ～ 7	被災者は、スーパーマーケットの窓ガラスの清掃作業のため、天端の高さが約2mの脚立を使用して高さ約2.5mの風除室の屋根上に移動していたところ、地上に墜落し死亡した。なお、脚立は墜落した被災者の付近に転倒していた。	371	1	300 ～
2016	1	12 ～ 13	午前8時頃に出勤した被災者が、午前8時30分頃、従業員休憩室の出入口付近で倒れているところを同店副店長に発見され、救急搬送された病院において加療するも、翌日午後0時43分にくも膜下出血により死亡した。なお、被災者の直近1ヶ月間の時間外労働・休日労働時間は、100時間を超えていた。	921	90	1～9
2016	1	12 ～ 13	請負先の構内の樹木に取り付けたイルミネーションの取り外し作業に従事していた被災者が、樹木の横を流れる水路にうつ伏せで倒れている状態で発見され、死亡した。	712	1	1～9
		11	ビル4階建て（本館、別館）の窓拭き作業を6人で行っていた。被災者は、別館の建物4階の外側の庇（幅1m、地上からの高さ11.6m）で、外側の窓拭き作業を1人で行っていた。その後、しばらくして、何か			100

2016	1	～ 12	落ちたような音がし、他の作業者が見に行ったところ、アスファルト上の地面に倒れている被災者を発見した。被災者は、救急車で病院へ搬送され、死亡した。	418	1	～ 299
2016	1	～ 22	警備業務委託元である会社において、被災者は、警備業務研修として教育係の労働者とともに巡回警備業務を行っていた。地下にある排水処理施設の巡回のため、階段を下りていたところ、上から4段目でバランスを崩して前のめりで頭より転落し、頭部を強打した。搬送先の病院で、死亡が確認された。	413	1	～ 499
2016	3	～ 15	官公庁へ書類を提出するため自転車を運転中、川の橋上にて強風により書類が飛ばされ、その書類を追いかけるため自転車を堤防に止め、制服等を川縁に置き入水したが溺れ死亡した。	713	10	50～ 99
2016	3	～ 12	被災者と同僚が災害発生現場であるゴルフ練習場の天井グリーンネットの修繕作業に従事し、被災者は地上に降ろした天井グリーンネット上に座りながら当該作業をしていたところ、突風（じん旋風）がゴルフ練習場内で発生した。その直後、同僚が被災者の方を確認したところ、被災者はグリーンネットに絡まった状態で頭から血を流して倒れていた。	719	1	10～ 29
2016	4	～ 14	事業場内で座り込んでいたのを同僚が発見し、声を掛けたところ、手を振っての反応だけで声を出しての反応がなく、救急車で病院に搬送され、翌日死亡した。	921	90	10～ 29
2016	5	～ 18	勤務先となっているホテルの内階段で、3階の扉を開けて中に入ろうとし扉の取っ手を引いたら緩んでいた取っ手が外れ、その反動で階段から転落。3階と2階の間にある踊り場に頭部を強打した。	413	1	30～ 49
2016	5	～ 12	1階ロビーの高さ約6メートルの位置にある排煙用途のガラス窓を1人作業ではしごを使用して清掃作業中、バランスを崩して墜落。コンクリート床に右側頭部強打し意識不明の状態であったが、3日後に死亡した。	371	1	10～ 29
2016	6	～ 9	貯水槽の点検・清掃作業準備の為、貯水槽の上に上がっていた労働者が高さ約5メートル下の地面に墜落した。被災者は病院へ搬送された後、死亡	391	1	～ 300

		10	した。			499
2016	9	7 ～ 8	業務補助職員は、トイレに行くため、1階警備室を出て1階ホールを通りかかったところ、人のうめき声を聞いた。業務補助職員は、うめき声が聞こえる総合窓口センターへ行ったところ、防火・防災シャッターと床の間（10cm程度）に首から肩部分を挟まれた状態の被災者を発見した。	391	7	300 ～
2016	10	15 ～ 16	ロープとブランコを用いて5階建て（高さ20m）のオフィスビルの窓の清掃を行っていたところ、メインロープを緊結した構造物（配管ラック）が滑動してメインロープが外れ墜落し死亡した。	379	1	1～9
2016	10	15 ～ 16	学校の職員室における蛍光灯の交換作業を、委託を受けたビルメン事業者の常駐用務員が行っていた際、事務机（高さ0.7m）の上に脚立（長さ1.2m）を載せ、被災者が当該脚立の3段目（床から高さ1.6m）に足を置き天板上に腰を置き交換していたところ、脚立の開き止めをかけずに作業を行っていたことから、脚立が開き被災者が床面に墜落し、頭部打撲した。	371	1	30～ 49
2016	10	14 ～ 15	清掃員である被災者が車道上の街路樹の落葉を竹箒で掃いていたところ、対向車線よりはみだした一般乗用車に激突され、救急搬送されたものの、頭蓋内損傷により死亡した。	231	17	10～ 29
2015	5	14 ～ 15	作業箇所の上部からロープを吊るしそのロープにより身体を保持しながら作業を行ういわゆる「ブランコ作業」にて建物の外窓清掃作業を行っていた被災者が、そのロープと共に屋上付近（高さ約19メートル）から地上に墜落し、死亡したもの。	379	1	1～9
2015	2	13 ～ 14	生物園の大温室（ガラス張り）の屋上において、被災者が高圧洗浄機を用いて屋根ガラスの清掃作業中、ガラス上に乗った際に割れ、約9.5メートル下の通路（コンクリート構造）に墜落し、死亡したもの。	415	1	1～9
2015	5	9 ～ 10	建物（7階建て）外面の窓ガラス清掃をブランコを使用して行っていたところ、7階清掃中において屋上から吊り下げていたメインロープが切れて約20メートル下のアスファルト舗装歩道上に墜落したもの。なお、墜落防止用のロリップが設置されていたが、被災者はこれを使用していな	379	1	50～ 99

			かったもの。			
2015	1	23 ～ 24	パチンコ店閉店後の清掃業務を行っていた労働者が、台車にゴミを乗せて外のゴミ箱に運ぼうと道路を移動中、後ろから走行してきた乗用車にひかれ、脳挫傷により死亡したもの。被災者の所属事業場はパチンコ店を経営する会社の子会社で、同社が経営するパチンコ店の閉店後の清掃業務のみを請負により行っている。	231	17	30～ 49
2015	9	9 ～ 10	病院敷地内の私道上において、正門付近のマンホールの蓋に設けられたのぞき窓を開けて水道管の流量計の検針作業中、市から業務委託を受けたタクシー会社が運行するバスが市道を左折して正門から進入してきたところ、被災者に気づかずに轢いたもの。意識不明により治療を行っていたが、10月10日の1時に脳挫傷により死亡した。	231	7	10～ 29
2015	11	15 ～ 16	ビル管理人として勤務する被災者は、巡回点検のためエレベーターで6階に行き、外階段で屋上の電気点検を終えた後、外階段の各階点検途中、屋上から6階の間で階段を踏み外し転倒し、後頭部を壁に強打した。病院に搬送され、治療等が行われたが、8日後死亡したもの。	413	1	300 ～
2015	5	9 ～ 10	被災者は、2階建て建築物の2階窓の縁に移動はしごを立て掛け、同はしご上で、窓ガラスの清掃作業を行っている際に、体勢を崩し、体の左側から約4メートル下の地面に墜落した。	371	1	50～ 99
2015	7	13 ～ 14	被災者は、除草作業中、蜂に刺されて負傷し、入院中、翌日の午前1時49分に死亡した。	719	90	30～ 49
2015	10	5 ～ 6	テーマパーク構内において、清掃作業を行っていた被災者がゴンドラ船着場付近の深さ2.3m（水深1.7m）の水路に、モップと共に沈んでいるところを発見されたもの。	416	10	300 ～ 499
2015	2	11 ～ 12	中学校の体育館の屋根周囲の雨水配水管の排水口（ドレン）に堆積した落葉等の清掃作業を2名で行っていたところ、被災者が西側の屋根から約1メートル下の公道上に墜落し死亡したものである。なお、同作業は同日	415	1	1～9

			のみで終了する予定であった。			
2014	1	6 ～ 7	ビル管理会社に勤める被災者は、設備の巡回のため、ビル屋上で設備の巡回を行っていたところ、ビル屋上から地上に墜落した。	418	1	1～9
2014	2	7 ～ 8	国道で被災者外2名が乗った車がスリップし、対向車線を走行していた車と衝突。助手席に乗っていた被災者が死亡した。尚、路面は圧雪状態だった。	231	17	1～9
2014	4	14 ～ 15	旅館玄関脇の駐車スペースに停めてあった無人の乗用車に別の客のワゴン車が追突し、押出された乗用車が、前を歩いていた被災者に接触した。	231	17	50～ 99
2014	5	16 ～ 17	結婚式場の窓ガラスの清掃中、2連梯子を窓枠に立てかけ、登っていたところ、バランスを崩し、2連梯子が傾くと同時に高さ約5.4mから墜落。落下地点に置かれた鋼製パラソル支柱に頭部を打ちつけた。	371	1	10～ 29
2014	5	11 ～ 12	ブランコ板にて外面窓ガラス清掃作業中、被災者がブランコ板から墜落した。	379	1	50～ 99
2014	6	22 ～ 23	警備中、不審者を発見し、確認しようと地下から地上に通じる階段を昇ったとこと、転がり落ち、死亡した。	413	1	300 ～ 499
2014	6	10 ～ 11	窓清掃作業中、ブランコ作業を行っていた被災者が、墜落し、下方にいた同僚に激突。墜落した被災者と、激突された被災者は共に死亡した。	379	1	1～9
2014	6	10 ～ 11	窓清掃作業中、ブランコ作業を行っていた被災者が、墜落し、下方にいた同僚に激突。墜落した被災者と、激突された被災者は共に死亡した。	379	1	1～9
2014	6	8 ～	事業場内の坂道途中の側溝にて、被災者が自家用車の下敷きになっているところが発見された。	231	7	30～ 49

		9				
2014	7	11 ～ 12	集合住宅空き室の清掃作業中、マンションの階段で転倒し、頭部を打撲。急性硬膜下血腫により死亡した。	413	1	1～9
2014	8	8 ～ 9	事務所から清掃現場に自動車で行く途中、横転事故を起こし、死亡した。	231	17	1～9
2014	9	11 ～ 12	階段の清掃作業中、地下から階段をのぼった際、階段の下から2段目に足をのせたところ、バランスを崩し、真後ろに転倒。頭部を強打し、死亡した。	413	1	10～ 29
2014	9	15 ～ 16	植木の剪定作業中、脚立を用いて行っていたところ、脚立上から転落し、死亡した。	371	1	30～ 49
2014	9	11 ～ 12	外壁清掃作業中、アルミ製の移動はしごから下りようとしたところ、曲面状の柱に立て掛けていた移動はしご脚部下端が滑動し、移動はしごとともに高さ約1.7メートルから地面に墜落。胸部等を移動はしごで強打し、死亡した。	371	1	1～9
2014	10	10 ～ 11	ビル内の変電設備の点検中、感電し、死亡した。	352	13	50～ 99
2014	10	17 ～ 18	被災者は、天井部分のH鋼にはしごをかけ、断線箇所の確認作業中、同僚がはしごを支え、被災者がはしごを昇ったところ、はしごが真ん中から折れ、墜落した。	371	1	50～ 99
2014	10	16 ～ 17	調理部屋にて、明かり取り用の窓に日差しよけビニールを付けようと脚立を使い、梁に上がったところ、転落。頭部を強打し、死亡した。	415	1	50～ 99
		1	被災者ら4人はワゴン車で移動中、自動車道のジャンクションに入ろうと			300

2014	11	～	減速したところ、後方から大型トラックに追突された。後部座席に乗って	221	17	～
	2		いた被災者が死亡した。			
2014	11	～	ビルの屋上から吊ったブランコ上でビルの外窓を清掃中、ブランコのメイ	418	1	10～
	8		ンロープをかけていたグレーチングが建物から外れ、ブランコごと墜落し			29
	9		た。			
2014	12	～	駐車場を横断中、来場してきた車と接触し、頭を強打し、死亡した。	231	6	100
	14					～
	15					299
2014	12	～	被災者がトラックに保護帽を取りに向かった際、運転席から降りたところ、	221	1	30～
	8		誤って足を踏み外し、地面に頭を強く打ち付けた。			49
	9					
2014	12	～	被災者が、店舗中2階通路の扉を開けて中に入り、通路内のケーブルラック	416	1	100
	7		の横棧に足をかけ、検針作業していたところ、背面の出入り口の扉が突			～
	8		然開き、後ろ向き状態で下の階段に墜落。1階の階段下に倒れていると			299
			ころを発見された。			
2014	12	～	巡回警備中、屋外アスファルト駐車場で後ろ向きに倒れ、頭部を強打し、	921	90	100
	15		死亡した。			～
	16					299
2013	1	～	被災者は、受水槽の給水設備を点検した後、事務所へ移動するため、資材	231	6	1～9
	11		搬入路を横断していたところ、当該資材搬入路を後進してきた一般車両に			
	12		激突され、路面で頭部を強打した。			
2013	8	～	清掃業務が終了したことから、会社の車で被災者らを自宅まで送っていく	231	17	300
	15		途上、時速約20kmで電信柱へ激突し、助手席に乗車していた被災者			～
	16		は、胸を強く打った。			499
2013	7	～	ガス式食器洗浄機でトレイを洗浄中、一酸化炭素が発生し倒れている被災	519	12	10～
	8		者を同僚が発見した。			29
	9					

2013	4	14 ～ 15	災害発生場所の地下階段踊り場で、倒れている被災者が発見された。尚、目撃者がいないため推測であるが、被災者は地下1階から地下2階へ下りる階段を、肩に掃除機を掛けて上から下に向かって掃除をしていたが、階段から足を踏み外して転落、頭を強く打ったものと思われる。	413	1	100 ～ 299
2013	8	9 ～ 10	鉄筋5階建て雑居ビルの外窓清掃のため、屋上に作業用ロープと命綱を取り付けた後、屋上のパラペットから人力のブランコ台をビルの外側に下ろす際に、ブランコ台と共に約20メートル下の地上に墜落した。	379	1	1～9
2013	6	9 ～ 10	被災者は、ビルの9階部分にて窓の清掃作業を、窓の外側にある幅約75cmの植栽スペースにて行っていたところ、約28m下の地面に墜落した。	418	1	10～ 29
2013	9	6 ～ 7	警備業務に従事する労働者が、不審者が侵入したとの通報を受け赴いたところ、当該不審者から暴行を受け死亡した。	921	90	300 ～ 499
2013	3	12 ～ 13	自社の駐車場で、ジャッキで持ち上げたパッカー車の下にもぐり、グリースを充てんする作業を行おうとしていた際、ジャッキが外れパッカー車が後進してしまい、パッカー車の下敷きとなった。	361	7	50～ 99
2013	11	10 ～ 11	マンション管理人である被災者は、マンションの玄関先で清掃中に転倒し、頭部を打撲した。	921	2	1～9
2013	6	9 ～ 10	ビルの窓ガラス清掃を行うため、ブランコ型の板にのり、5階付近で作業を行っていた、ブランコごと地上に墜落した。尚、ブランコのメインロープ、補助ロープとも屋上にある柵の控え部の根元に、それぞれ固定されていたが、重さに耐えきれず、控えの根元ごと外れたことにより、ロープも外れ、墜落に至った。	418	1	1～9
2013	8	14 ～ 15	被災者は、工場屋根に取り付けられている空調ファンの清掃作業を行っていたところ、空調ファン付近に設けられていた天窓を踏み抜き、9.3m下のコンクリート床に墜落し死亡した。	414	1	1～9

2012	8	13 ～ 14	火力発電所内にある整粒室建屋の石炭サンプリング設備の運転状況を確認するため構内を単独で巡回中、4階の設備の点検口付近において被災者の上半身が設備内を走行してきたサンプリング装置の受け皿部分と設備内側の壁の間に挟まれているのが発見された。なお、被災者発見時に通常点検口付近に置いてある清掃棒が設備の内部にあった。	224	7	50～ 99
2012	8	14 ～ 15	昼から3名で病院の清掃作業を開始、被災者は病院2階の窓を掃除するため、梯子（高さ4.8m）を同僚労働者1人に支えさせ、窓拭き作業をしていたが、梯子が傾いて転落し、アスファルトの地面に頭部等を強打した。なお、作業時、被災者はヘルメット、安全带等を着用していなかった。	371	1	10～ 29
2012	4	14 ～ 15	被災者は水槽（高さ170、幅156、奥行156cm）内のタラップに木製の足場板一枚（長さ145、幅25cm）を置き、この足場板上で水槽内に取り付けているドラム（直径100、長さ100cm）の表面の錆び取り作業している時に墜落し、回転中のドラムに巻き込まれ死亡した。	416	1	1～9
2012	11	10 ～ 11	建物の3階で固定されている窓ガラスの拭き掃除作業を行っていた被災者は、誤って約10m下の構内通路に墜落した。災害発生当時、窓ガラスの周囲に足場はなく、被災者は安全帯を装着していなかった。また、保護帽は被っていたものの飛来落下災害防止用であった。	418	1	30～ 49
2012	8	17 ～ 18	室内の定期清掃業務において、被災者は男性トイレの床のワックスがけ前の準備作業として、トイレの床を業務用掃除機で除塵作業を行っていた際、当該トイレ内で倒れているところを同僚に発見され、救急搬送先の病院で死亡した。	714	11	300 ～
2012	10	14 ～ 15	人荷用エレベーターの扉が開き乗ろうとした際、搬器が急に上昇したため、高くなった搬器の床につまずき転倒、上半身が搬器内にある状態でそのまま上昇し、搬器の床と入口の上枠との間にはさまれた。	214	7	300 ～
2012	4	14 ～ 15	マンションの立体駐車場ピット内にて、同マンションの管理人が立体駐車場脇の扉から7～8m下にあるパレット（自動車を載せる台）上に、扉位置口付近の作業床端部よりパレット内に墜落した被災者が横たわっているのを発見した。被災者は既に昏睡状態であったが、救急搬送先の病院にて死	418	1	30～ 49

			亡が確認された。			
2012	2	10 ～ 11	被災者は業務用エレベーターを使用して1階から地下部分に椅子を運搬する作業を行っていたが、エレベーター昇降路内（地下1階部分）で倒れているのを発見され、救急搬送先の病院にて死亡が確認された。	214	1	100 ～ 299
2012	4	17 ～ 18	被災者は災害が発生した建物の設備等の保守・点検業務を行い、作業終了後建物の所有者に点検完了の報告を行った。しかし、その後も被災者は、建物11階のセットバックになっている屋根上の排水溝部分の目詰まりを確認するため当該場所へ向かい、確認作業を行ったところ、高さ約70cmのパラペット部分を乗り越え、約30mの高さから地上へ転落し、死亡した。	418	1	300 ～
2012	4	7 ～ 8	被災者は既存建築物の屋上にて窓ガラスの清掃作業準備中、屋上から地上へ約20m墜落した。	418	1	1～9
2012	6	10 ～ 11	テナントビルにおいて、被災者はエレベーターホールの床をモップで清掃していたところ、足を滑らせ前方に転倒し、頭部および胸部、大腿部を床面に打ちつけた。なお、被災者は最寄りの病院へ行き、頭部の検査を受け打撲と診断されたが、大腿部に骨折の疑いがあるため精密検査を受けるよう指示を受け、翌日別の病院で検査を受けたところ、心臓に異状が認められ入院していたが、1週間後に様態が急変し死亡した。	417	2	10～ 29
2012	7	10 ～ 11	高さ約10mの立木を伐採するにあたり、長さ8mの梯子を設け、チェーンソーを使用し、梯子最上段を足場として作業を行っていたところ、伐採した枝が被災者に接触し、バランスを崩して墜落した。	712	1	50～ 99
2012	10	8 ～ 9	マンション玄関の庇の上から水が垂れてきたため、排水の詰まりを除去しようとして、脚立（約2m）に上り作業をしていたところ、排水口から突然水が出てきたため体勢を崩して落下した。	371	1	100 ～ 299
2012	6	9 ～ 10	体育センターの管理運営業務の委託を受けたJVを構成する事業場の所属労働者が、複数名で体育館の照明器具の取り換え作業を行っていたところ、うち1名が作業を行うために乗っていた鉄骨製の梁上からバランスを崩し、天井として張られていた防音板を突き抜け、高さ約20mの体育館床上	415	1	300 ～

			に落下し死亡した。			
2012	9	5 ～ 6	被災者は同僚とともに草刈り作業に向かうため、国道の路肩に軽トラックを停車させ、当該車両の後方で打ち合わせを行っていたところ、後方から来たワゴン車に追突され、被災者と同僚が共に死亡した。	231	17	1～9
2011	4	6 ～ 7	被災者は被災者の同僚が運転する軽ワゴン車に同乗し、現場から帰る途中、同僚が運転する軽ワゴン車がセンターラインを越えて、対向車と衝突したものの。	231	17	10～ 29
2011	3	18 ～ 19	首都高速道路上で、出張から会社へ戻る帰路中、会社の車を運転していたところ、自車がセンターラインを完全にオーバーして対向車と衝突し2名が死亡、1名が骨折（休業見込6か月）したものの。	231	17	10～ 29
2011	3	18 ～ 19	首都高速道路上で、出張から会社へ戻る帰路中、会社の車を運転していたところ、自車がセンターラインを完全にオーバーして対向車と衝突し2名が死亡、1名が骨折（休業見込6か月）したものの。	231	17	10～ 29
2011	6	8 ～ 7	現場管理責任者として建物を巡回している途中で、9階建て建物の屋上から1階の植栽内へ墜落した。	418	1	300 ～
2011	8	8 ～ 9	契約しているビルの窓ガラス清掃をメインロープとライフラインを通したハーネスを装着し、屋上部から順次作業を開始した。8階部の清掃作業を終え、7階部に下降したところ、メインロープとライフラインと共に、約30メートル下の地面に墜落したものの。	379	1	50～ 99
2011	8	15 ～ 16	被災者は、1人で、4m×5m、水深30cmの池のコンクリート壁面にこびりついた苔を取り除くため、被災者所有の手持ちサンダーの砥石をバフにし、ゴム長、ゴム手袋（防電タイプかどうかは調査中）をして苔を取り除く作業をしたいたところ、漏電により感電死したものと推測される。漏電が起きた事実は、アラームが鳴った事実があるとのこと。清掃は2か月に1回ぐらい実施。契約上実施すべき業務。	169	13	
			1階の作業が一段落ついた被災者は、屋上で作業している同僚を手伝おう			

2011	6	13 ～ 14	と事前に同僚へ声掛けしようとしたが、1階からでは屋上へ声が届かないため、4階踊場に設置した昇降設備（脚立にハシゴを取り付けたもの）を使用し昇降中、身体のバランスが崩れ、その反動で脚立が倒れて転落したもの。現認者がいないので詳細は不明。	371	1	1～9
2010	12	7 ～ 8	清掃箇所へ向かう途中の階段で転落し、踊場にて仰向けに倒れている被災者が発見されたもの。	413	1	1～9
2010	12	13 ～ 14	7階建てのビルにおいて、被災者がブランコを使用して外壁・窓清掃作業を行っていたところ、ブランコを支えていたメインロープの屋上部分の結び目が被災者の体重等に耐えられる結び方でなかったため外れ、被災者は7階壁面位置からメインロープ・ブランコごと地上に墜落し、被災したものの。なお、垂直親綱（ライフライン）は外れておらず、また、被災者の腰ベルトにはロリップがついていた。	379	1	50～ 99
2010	12	8 ～ 9	被災者を含む作業員2名で、昨晚から早朝にかけて降った大雨により、地下の駐車場に雨水が溜まっていたため、地下ピットのマンホールを開き、地下ピットに雨水を流す作業を行っていたところ、被災者がマンホールから地下ピットに墜落したもの。墜落防止措置を講じていなかった。	414	1	1001 ～ 9999
2010	11	11 ～ 12	被災者は、建物間を結ぶ歩廊に防風・防雪用のネットを取り付けるため、脚立上で作業を行っていたところ、不安定な体勢であったため風でバランスを崩し地面に落下した。その際、脚立の足で腹部若しくは胸部を強打し、3日後に死亡した。	371	1	50～ 99
2010	11	9 ～ 10	被災者は、高速道路サービスエリア内の駐車場において、ごみの収集作業のため、同エリア中央部の大型車駐車場からスルーレーン（通り抜け車道）側へ出ようとした際に大型車にひかれ、病院へ搬送中に死亡したものの。	231	17	100 ～ 299
		14	窓ガラスを清掃するため、当該建物屋上（高さ約24m）に吊り下げ器具を設置し、吊り下げ用ロープにチェアを吊り、窓ふき作業を実施していた。清掃場所を移動するため2名で吊り下げ器具を移動させた後、吊り下			

2010	11	～	15	げ器具の固定をするための親綱を張っていたところ、背後で声がしたため、振り返って確認したところ、パラペット付近にいた被災者が、吊り下げ器具とともに地上に墜落していた。吊り下げ器具のカウンターウエイト（作業時のバランス用、約60kg）を取り付けていなかった。	418	1	30～ 49
2010	9	～	12 13	交差点で、横断歩道を自転車に乗り横断していたところ、左折してきた大型トラックに巻き込まれ、搬送先の病院で死亡した。	221	17	50～ 99
2010	8	～	7 8	意識不明の状態では保安室の仮眠室において被災者が倒れているのが発見され、病院に救急搬送され入院加療していたが、11日後に死亡したもの。転倒して側頭部を打撲したとみられる。	417	2	10～ 29
2010	8	～	10 11	被災者は6階建ビルの窓拭き作業のため、屋上において、ビル外壁を下るための「ブランコ（通称）」を取付けるメインロープを盛り替える途中、何らかの原因で屋上から22.3m下の当該ビルのアスファルト駐車場に墜落したもの。	418	1	1～9
2010	7	～	9 10	作業員6名は、災害発生地において、タンク2基の内部表面に付着したものを除去することとなった。被災者2名は、17立方mのタンク内部に入り、他の作業員から渡された足場材の設置作業を行った。内部で清掃作業中、同作業を把握していない他の労働者が攪拌機の起動スイッチを押したため、タンク内のプロペラ状攪拌機（軸はタンク内中心から垂直に立ち、3つの攪拌するプロペラ状を持つ）が回りだした。この時、被災者1名が攪拌機の巻き込まれ死亡、他の1名が打撲した。	162	7	10～ 29
2010	7	～	15 16	銀行での処理を終え、自転車で事務所に帰る途中の横断歩道を横断中、右折してきた軽自動車にはねられて病院に収容され、意識不明のまま3日後に死亡したもの。	231	17	100～ 299
2010	7	～	8 9	公共施設の定期清掃において、2階の外部の窓清掃を行っていた被災者が高さ約4.7mから転落したもの。墜落防止措置を講じていなかった。	418	1	100～ 299

2010	7	9 ~ 10	被災者は、3階建のビルの階段の清掃を単独で行っていた。3階踊り場で、倒れているところを取引先の労働者に発見され、救急車で病院に搬送されたが、当日深夜、頭部の負傷により死亡したもの。状況から、3階から下の踊り場までの掃き掃除を終了後、手すりを雑巾で拭いている際に、階段を転落したとみられる。	413	1	30~ 49
2010	7	11 ~ 12	清掃作業員が7階から6階へ通じる階段から転落し、踊場で頭から血を流して倒れているのが発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。	413	1	1~9
2010	6	9 ~ 10	建物内の地下2階にあるゴミ置場にゴミを捨て、地下1階のフロアーに戻るため、地下2階から地下1階へ上がる屋内階段（幅138cm、蹴上げ19cm、勾配38度）を昇っていた時、よく見ておらず階段の踏面（28cm）を踏外して踊場へ仰向けの状態で転落した。その後、病院に搬送され、治療を施されたが、2日後に頭部の負傷等により死亡したもの。	413	1	300 ~
2010	6	8 ~ 9	8階建てビルの外面窓清掃作業のため、被災者は屋上にブランコをセットした後、6階の窓ガラスを清掃している時、建物の角にステンレス製の雨どいがあり、この雨どいへの巻き養生を付け忘れたことによってブランコのロープ2本が切断し、地上へ墜落して死亡したもの。	379	1	1~9
2010	5	15 ~ 16	被災者は、病院3階の外窓を拭くため、3階病室の窓から外に出て、庇（幅79cm）の上に乗ったところ、バランスを崩し、庇の端から約7.6m下の地上へ墜落したもの。墜落防止措置を講じていなかった。	416	1	1~9
2010	4	15 ~ 16	14階建てワンルームマンションにおいて、本来労働日でない金曜日に、清掃作業員である被災者が14階共用外部廊下（高さ39m）より墜落し死亡したもの。目撃者はいなかったが、14階共用外部廊下の風よけガラスが設置してある箇所に、管理室の折りたたみ椅子と清掃用ウエスがあったことから、風よけガラスの上部を清掃作業中にバランスを崩し、墜落したものである。	418	1	1~9
			被災者は市役所内におけるゴミ収集等の清掃業務を行っているもの。1階車庫内の自動車修理用ピット（幅80cm（内側130cm）、奥行55			

2010	1	10 ～ 11	2 c m、深さ150 c m) 内でうつぶせに倒れ、心肺停止状態となった被災者が発見され、救急車により搬送されるも病院にて死亡が確認された。清掃作業中に足を踏み外してピットに墜落した際、ピットの縁部分に胸を強打したとみられる。	414	1	1～9
2010	1	9 ～ 10	ホテル屋上からロープを垂らし下降しながら窓清掃を行う作業を行っていた被災者が、当日2カ所目の作業のためロープを緊結し、屋上のパラペットからロープを伝って下降しようとしたところ、ロープの緊結がほどけて高さ約45 m下の地面に墜落した。	379	1	1～9
2010	1	11 ～ 12	マリーナより出航し、沖合のダイビングポイントにおいて、当日2本目のダイビング案内中、船の錨が外れたので船上にいた被災者が錨を海底に固定するためにスキューバ式潜水器を用いて潜水したところ、溺死したものの。被災者は潜水士資格を有していなかった。	713	10	100 ～ 299
2009	1	13 ～ 14	被災者等3人は事業場の階段の清掃作業を行っていた。被災者は不要となった脚立を片付けるため、脚立を担ぎ階段を降りていたところ、階段でつまずき転倒した。	413	1	50～ 99
2009	12	14 ～ 15	被災者は同僚3人と共に、窓ガラスの清掃作業等に從事していた。被災者は中2階の外側車庫の庇の上（高さ3.2m）から、窓ガラス外側清掃用の専用ブラシ（タッカー）で3階部分の外側のガラス（高さ5.1m）を清掃して車庫の庇上から墜落した。庇には手摺り等が設置されておらず、作業にあたり墜落防止措置や安全帽も着用していなかった。	418	1	1～9
2009	12	9 ～ 10	9階建てマンションの貯水槽清掃作業を行うため、屋上踊り場から塔屋の貯水槽設置箇所に登るため、既設の「はしご道」に手をかけて登り始めた直後、踊り場手すりを超えて約30m下の地上に墜落した。	413	1	10～ 29
2009	11	15 ～ 16	施設管理を行っている区民ホール内の地階駐車場から1階事務室に通じる階段で足を踏み外し、地階に転落して地階扉の金属製ノブに身体を強打し負傷した。後日、入院先で死亡した。	413	1	10～ 29
			野菜搬入のために商業ビルの業務用地下駐車場の受付で、トラックのエン			

2009	8	14 ～ 15	ジンをかけたまま受付手続きをした際、1階出入口付近に停車中の運送会社の2tトラックが無人のままスロープを下りだし、約40m先の曲がり角で壁に激突した。近くで交通整理をしていた警備員の被災者が壁との間にはさまれ、死亡した。	221	7	30～ 49
2009	9	14 ～ 15	体育館に通じる階段の窓拭き作業終了後、窓枠のへり（幅30cm）に上がり建物の内側から網戸を取り付けていたところ、2.3m下の踊り場床面に墜落した。	418	1	100 ～ 299
2009	11	12 ～ 13	会議場内、高さ約4.3mの1階階段脇造花植え込み上で電球を取り換えるために脚立で作業をしようとしてたところ、階段下に墜落した。	371	1	10～ 29
2009	12	10 ～ 11	到着する列車の車内清掃を行うため、駅構内プラットホームの乗車位置付近で待機していたところ、1.26m下の軌道（線路）内に転落して血を流しているのを同僚に発見された。直ちに救急車で病院に搬送されたが数時間後に死亡した。	418	1	10～ 29
2009	6	14 ～ 15	換気ファンの不具合調査のため、B2F中水道設備室へ被災者一人で向かった。夕方の引き継ぎ時間に戻らないため、他の作業者が搜索したところB2F中水道設備室のスラブ下の貯水槽に沈んでいる被災者を発見した。	713	10	1～9
2009	6	10 ～ 11	13階建てマンションの清掃作業を行っていた被災者が、外部昇降階段の11階と12階の間踊り場で、天井や電灯の掃除の作業を行うため、パイプ椅子の上に乗って作業を行っていた際に、誤って高さ1.14mの側壁を越え、地面へ墜落した。	379	1	100 ～ 299
2009	8	11 ～ 12	工場内で、パック詰めされたジャムを水で冷却する機械である「スパイラル式ジャム冷却装置」の洗浄作業を行っていた被災者が、当該装置の起動ボタンを持ち、装置等の様子を見ながら作業をしていたところ感電した。起動ボタンは、本来は同装置の枠に取り付けられているが、災害発生時は装置枠外に取り外されていた（装置は、定格電圧200ボルト）。	351	13	1～9
		10	小学校体育館の窓清掃作業において、被災者は10時の休憩後、アルミ製2連はしごに昇り、引続き北面外側上方の窓拭き作業を単独で再開後、すぐ			

2009	2	～ 11	にはしご上高さ約4.4mから墜落した。ヘルメットの着用はあったが、安全帯の着用はなかった。	371	1	1～9
2009	3	15 ～ 16	水管からの漏えい等により修理が予定されていた配管ピットの蓋が開いていたため、同僚がこのピットに入ったところ、ピット底に倒れている被災者を発見した。消防レスキューにより救出されたが、同日死亡が確認された。	715	90	300 ～
2009	2	9 ～ 10	被災者は、運転手と二人でごみ収集の個別委託先であるホテルにおいて、可燃ごみの収集作業を行っていた。ごみ収集車のテールゲートを開けて可燃ごみを積込み、作業を終えたので、運転手が被災者に声をかけて運転席にあるスイッチでテールゲートを閉めた時に、悲鳴が聞こえたので、後部を見に行ったところ被災者が倒れていた。	221	7	100 ～ 299
2009	1	12 ～ 13	被災者は午前0時から午前8時までの警備業務（車による巡回）に従事していたが、帰宅時間になっても被災者が帰宅しなかったため、警察が捜索を行ったところ、翌日午前10時頃、警備場所付近の海底（水深約3m）に沈没した車から溺死した被災者を発見した。	231	10	50～ 99
2008	8	10 ～ 11	ビルの管理人として常駐していた被災者に地下1階駐車場に至るスロープに設置されていたシャッターの袖扉（高さ440cm、幅120cm、厚み9cm、重量250kg）が突然倒れ、身体が下敷きになり死亡した。	418	5	100 ～ 299
2008	2	9 ～ 10	階段の清掃作業中に階段7段目（高さ126cm）から踊り場に転落して死亡した。	413	1	1～9
2008	8	8 ～ 9	通用門手前にトラックを駐車して通用門の守衛室で書類手続き中の同僚のもとに向かったところ、駐車していたトラックが逸走し、トラックに激突された。	221	6	100 ～ 299
2008	2	10 ～ 11	パーキング場の消防設備点検作業を行うため、立体駐車場2層目に設置された分布型感知器収容箱の点検作業を行っていたところ、下りてきた車両エレベーターと床にはさまれて死亡した。	214	7	0

2008	2	11 ～ 12	被災者は清掃員として研究センター構内の清掃雑役作業に従事していた。同センター内の樹木を伐採するにあたり、2連はしごを使用して約470cmの高さの枝をのこぎりで切っていたところ、はしごが倒れて地面に墜落して死亡した。	371	1	100 ～ 299
2008	5	10 ～ 11	床清掃作業を行っていた清掃員に休憩を告げるため、被災者は1階からエレベーターを使用して2階の清掃作業中のフロアを歩き出したところ、足を滑らせ転倒して死亡した。	416	2	100 ～ 299
2008	2	11 ～ 12	小学校校舎（鉄筋コンクリート3階建て）の窓拭き作業中、2階の底部分からバランスを崩し、約4m下の地上に墜落した。安全帯は腰に巻いたが、使用していなかった。	418	1	10～ 29
2008	5	11 ～ 12	被災者は梁の上面を清掃するため脚立をはしご状にして、その下部を同僚が押さえて、高さ3mの地点にある梁の上面まで上ったが、窓が目の前に迫っており身動きが取れなくなった。一旦、地上まで降りることにして脚立を降り始めた。この時、同僚は別の場所に移動して脚立は固定されていなかったため、降りている時、脚立の脚部が滑り脚立ごと墜落した。	371	1	1～9
2008	4	20 ～ 21	被災者の運転する軽貨物車が交差点にさしかかった時、交差走行する普通貨物自動車に側面を衝突されて死亡した。	221	17	30～ 49
2008	3	9 ～ 10	8階建てビルの外部の窓ガラス清掃中、5階の窓ガラス部分のブランコから約9m下の3階ベランダへ墜落して死亡した。	379	1	10～ 29
2008	12	4 ～ 5	被災者は、現場の清掃作業を終えて同僚の運転する社用車に乗って事業場へ戻る途中に国道上の橋を通過しようとした際、路面が凍結していたために車がスピンして対向車線にはみ出し、対向車線から走ってきた大型ダンパーと衝突して1名が死亡し、2名が負傷した。	231	17	10～ 29
2008	11	8 ～ 9	ブランコでの窓拭き作業中に使用していたメインロープが切れて4階付近から路上に墜落した。	379	1	10～ 29

2008	8	8 ～ 9	被災者は同僚2名と小学校の3階にある教室の外側の窓を清掃作業中、被災者は二段窓の上段窓枠に両足をのせて窓を両脚ではさむように窓拭きをしていたところ、バランスを崩して10.4m下のタイル張りの校庭に墜落し死亡した。なお、安全带等の墜落防止措置はしていなかった。	418	1	50～ 99
2008	12	13 ～ 14	ホテルで食器洗浄業務を終えた被災者が、市道をはさんで向かいにある別のホテルの食器洗浄業務の応援のため市道を渡っていたところ、トラックにはねられた。	221	17	1000 ～ 9999
2007	12	9 ～ 10	病院玄関前の天板清掃のため、天板を支えるパイプ上に足場を組む作業中に、高さ4.5mのパイプ上から墜落した。	419	1	100 ～ 299
2007	8	17 ～ 18	出張先の除じん機械室において、害虫熱駆除システムによる害虫駆除業務（温風を発生させ、室温を55℃前後に保ち約40時間加温する）中、4時間毎に点検・温度測定のために作業者が室内に立ち入っていた。40時間の加温が終了し、後片付けの作業中、被災者が「気分が悪い」と訴えたため別室で休憩していたが1時間後に心停止状態で発見された。	715	11	1～9
2007	2	10 ～ 11	被災者は単独で倉庫内にある棚（床面から高さ1.97m）に移動はしご（長さ2.35m、内幅45cm）を立て掛け、移動はしごに上がり、棚に置いてあるパテ2種類を皿に取り出し、トイレ床の修理に使用する2液性パテを用意していた際にはしごから転落した。	371	1	300 ～
2007	2	13 ～ 14	卸売市場内の廃棄物集積場において、廃段ボールを回収に来た業者のトラック（廃棄物収集車）が、段ボールの集積場に向かって後進中、付近に立っていた被災者をひいた。	221	7	1～9
2007	8	16 ～ 17	被災者が、マンション共用廊下（5階）の蛍光灯を交換するため、脚立（二尺）と廊下手すりに足を掛けたところ、バランスを崩し1階まで墜落した。	371	1	1000 ～ 9999
2007	9	15 ～	建物3階ベランダにて、5段の脚立の上に登って窓の清掃作業を行っていたところ、約8m下の地面に墜落した。ベランダには手すりが設けられて	371	1	100 ～

		16	いたが被災者は安全帯や安全帽を装着していなかった。			299
2007	10	16	被災者は中央側溝周辺の芝刈り及び後片付け作業を単独で行っていた。中央側溝内で被災者が頭を西側にしうつぶせ状態で発見された。側溝底周	713	10	100 ～ 299
		17	辺から側溝底まで（高さ約2m）墜落した。			
2007	11	11	被災者は一人でクローラー駆動の手押し式除雪機の点検及び試運転を行っ	169	7	50～ 99
		12	ていたところ、後進してきた当該除雪機に押された状態のまま約1.5m			
			背後にあるホテルの壁にはさまれた。			
2007	3	8	被災者は、ビルメンテナンス現場で、ぐったりとしている状態で発見さ	911	90	10～ 29
		9	れ、その後死亡した。			
2007	11	15	被災者が自宅に帰って来ないので会社に電話し、勤め先の管理人が探した	418	1	10～ 29
		16	ところ、清掃用具置き場のピット底に被災者が倒れているのを発見した。			
2007	11	13	3階建て分譲マンションの外部窓ガラスの清掃作業を行なうため、高さ約	418	1	10～ 29
		14	10mの3階屋上に上り、建物中央の吹き抜け開口部（370cm×337cm）付近で、ロープ（長さ80m）を丸環に結ぶ等のブランコ作業の			
			準備作業をしていたところ、誤って吹き抜け開口部から地下1階（高低差12m）へ墜落した。			
2007	10	9	8階建てビルディングにおいて、被災者は屋上からロープを垂らしてブラ	379	1	10～ 29
		10	ンコに乗り、外部窓ガラスの清掃作業を行った。8階窓ガラスの清掃を行			
			い、引き続き7階窓ガラスの清掃を行うため、ブランコを下に移動した際			
			に、屋上の既設丸カンに固定されていた本ロープがはずれ、ブランコごと			
			墜落した。			
2007	12	9	病院南棟2階で、被災者は窓の外側をスクイジーによるシャンプーの拭き	418	1	1～9
		10	取り作業を行おうとして誤って転落した。			
		14	被災者は単独で小学校体育館の窓ガラスの清掃作業を、窓の棧（幅12c			

2007	3	～	m) に足を乗せて行っていたところ、8. 3 m下の体育館外側の小学校敷地に墜落した。	418	1	1～9
2007	3	～	小学校の校舎の窓ガラスの清掃作業中、2階にいた作業者が何かが落下したような音を聞いたため、様子を見に行ったところ、地上に倒れている被災者を発見した。校舎3階の窓枠に足をかけ、身を乗り出して窓ガラス外側の清掃を行っていたところ、地面に墜落したと思われる。なお、被災者は安全帯、保護帽を着用していなかった。	418	1	50～99
2007	11	～	事務所（2階建て）において、はしごに上って2階部分の窓拭きをしていた被災者が約4. 7 mのところから地面に墜落した。	371	1	10～29
2007	4	～	保育園の園庭内にあるプラタナスの木の枝切り作業を行っていた。枝の切り落としのため、アルミはしごで約4 mの枝に上がり作業を行い、作業を終了し木から降りる際に、はしごから墜落した。	371	1	1～9
2007	6	～	被災者は、9階客室の椅子・テーブル等のセットの業務に従事していた。客室の最終点検を行ったリーダーから、客室のコップが不足しているため補充すること及び虫が入っているため客室より追い出すことを指示され、窓を開けて「はたき」で虫を追い出していたところ、開けた窓から2.4 m下の地上に墜落した。	418	1	100～299
2006	11	～	講習後、会社に帰るため歩いているところを前方から走行してきた軽乗用車にはねられた。	231	17	1～9
2006	12	～	病院窓の清掃の段取中、被災者は窓にコの字型のプラスチック製ストッパーが内、外からねじ止めされていることを知り（窓が1.5 cm位しか開かず窓からの転落等を防止するもの）、病室3階の庇に降り、他の窓の状況を確認するため移動していた際に足を踏み外し約2. 5 m下の3階ベランダ部分に墜落した。	415	1	1～9
2006	12	～	ハシゴリフトに昇り、天井に取り付けてある換気扇の清掃作業をしていた	391	1	10～

		7	ところ、4. 15 mの作業床から墜落した。			29
2006	10	13 ～ 14	5階建築物外部の窓ガラスをブランコを使用して清掃中、建物の屋上に設けられている丸環からブランコを吊っていたロープが外れ墜落した。	379	1	10～ 29
2006	10	18 ～ 19	被災者が、勤務終了後当該事業場が入居しているテナントビルの通用口のポーチ付近（当該ビルの敷地）で、横倒しになった車椅子に乗った状態で倒れているところを、被災者の退社後に退社した同僚が発見した。	239	2	100 ～ 299
2006	10	11 ～ 12	電気設備の保守点検業務を委託されている事業場の労働者が、庁舎内の電気室で6600Vの電線の端子に触れ感電した。	351	13	1～9
2006	8	9 ～ 10	被災者は、校舎4階窓ガラス外側の腰壁に乗って、窓ガラスの清掃を行っていたところ、12.8メートル下の地上に墜落した。	416	1	1～9
2006	9	2 ～ 3	ビルの清掃業務を終え、帰社する途中、車のタイヤがパンクしたため、同僚1人とともにタイヤ交換を行い、ジャッキを降ろしている時に、後方から来た乗用車に2人ともはねられた。1名は死亡し、もう1名は重傷を負った。	231	17	100 ～ 299
2006	9	12 ～ 13	被災者は、公衆トイレの外階段において転倒しその後、倒れているのをトイレ利用者に発見された。	413	2	10～ 29
2006	8	5 ～ 6	茨城県清掃作業に向かうため、会社のワゴン車に3名が乗車して、国道線片側2車線の上り車線を走行していたところ、対向してきた乗用車と正面衝突した。	231	17	30～ 49
2006	8	15 ～ 16	タイヤ成形機を用いてタイヤ成形作業中、ゴムバンドドラムにタイヤの内輪部に当たるビード打ちを行う工程で、ゴムバンドドラムとビードセッターの間に挟まれた。	359	13	100 ～ 299
			被災者は設備保守管理を担当する者。被災者外1名により地下室に設置さ			

2006	8	10 ～ 11	れている空調機の月例点検・清掃作業を行っていたが、被災者が空調機の上部点検口（高さ約2.5メートル）への昇降を脚立を用いて行っていたところ、当該脚立より転落した。	371	1	300 ～ 499
2006	7	13 ～ 14	鉄筋コンクリート4階建て建物の窓拭き作業の準備中、高さ約22メートルの屋上から地上へ墜落した。	418	1	1～9
2006	6	6 ～ 7	出張作業にて清掃作業を行った後、ワンボックスの社有車を運転して事業場へ帰社する途中、前日の降雨で発生した水たまりで社用車がスリップし、中央分離帯を乗り越え、対向車線に飛び出してガードレールに激突した。	231	17	10～ 29
2006	6	1 ～ 2	被災前日から展示物収蔵庫の駆除作業を作業員2名で行い、これの排気作業を夜間作業で行っていたところ、そのうちの1名が被災当日未明から同僚に体調不良を訴えた。同僚と交代し休憩していたが容態が悪化し、救急車で搬送されたが、死亡した。	514	12	1～9
2006	6	10 ～ 11	作業員4名で5階建てビルの外面ガラスの清掃作業を清掃用ブランコを使用して作業を行っていたが、被災者の姿が見えないことに気づいた同僚が屋上から地上を見下ろしたところ、ビル北側の地上植え込みに被災者が倒れているのを発見した。	379	1	10～ 29
2006	2	14 ～ 15	マンション群外溝の清掃作業に従事、公道からマンション敷地に入るT字路で公道に平行な側溝の蓋を開け清掃作業中、公道から右折してきたマンション住民の普通自動車に轢かれた。	231	17	50～ 99
2006	3	19 ～ 20	夜間清掃現場に出張により移動するため、高速道路を走行中、前方の2tトラックに追突、ガードレールに衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡した。	231	17	10～ 29
2006	2	8 ～ 9	地下駐車場で清掃作業中、走行してきた車にはねられ1名が死亡し、1名が重傷を負った。	231	6	300 ～ 499

2006	1	9 ～ 10	被災者が高さ約4mにある採光窓を清掃するため、はしごを使用して清掃作業を行った後、はしご付近で仰向けに倒れているところを発見された。	416	2	1～9
2005	11	16 ～ 17	鉄筋コンクリート造2階建の屋外側の窓（地上高さ4.5m）に作業者がはしご（長さ5m）を掛けて窓ガラスを拭いていたところ、はしごが傾いたことにより、地上に墜落した。	371	1	100 ～ 299
2005	6	9 ～ 10	マンションの駐車場に面した市道で、側溝の清掃をしている際、駐車場から出てきた乗用車にはねられた。	231	17	100 ～ 299
2005	11	15 ～ 16	高さ2.5mの石垣の上で落ち葉の清掃作業を下見中、墜落した。	418	1	10～ 29
2005	1	14 ～ 15	照明器具の電球交換作業を脚立を用いて行っていたところ、当該脚立から墜落した。	371	1	100 ～ 299
2005	6	11 ～ 12	ビル内の清掃作業終了後、エレベーター内で気分が悪くなり、意識を失った。	999	99	50～ 99
2005	5	20 ～ 21	警備のため施設を巡回中、建屋の1階から地下1階へ下りる階段の踊り場で転倒した。	413	1	300 ～ 499
2005	9	14 ～ 15	窓清掃作業をキャットウォーク上から行っていたが、手の届かない部分の清掃作業を行うため、屋上からつり下げていたロープにブランコをつなぎ、そこを足がかりにして作業しようとしたところ、ロープが緩んだことからバランスを崩して1.4m下のキャットウォーク上に墜落し、さらに3.6m下の床上に墜落した。	379	1	30～ 49
		17				

2005	10	～ 18	小学校の2階窓ガラスを清掃中、2階窓より地面に転落した。	419	1	1～9
2005	5	～ 17	船底の清掃作業中、清掃作業に障害となる昇降設備をフォークリフトで移動しようとしたところ、運搬中に昇降設備がフォークから外れて倒れ、昇降設備を支持していた作業者がその下敷きとなった。	222	4	10～ 29
2005	1	～ 21	勤務開始前の時間に、勤務先のエレベーターホールで倒れた。	911	90	～ 499
2005	7	～ 9	軽自動車を運転中、緩い左カーブで対向車線に進入し、対向してきた車両と衝突し、横転・炎上した。	231	17	1～9
2005	8	～ 12	林道維持工事において、林道の草刈作業中、草刈機を装着した農業用トラクターが横転し、トラクターの下敷きとなった。	169	2	1～9
2004	5	～ 14	裏山にある屋外トイレを掃除に行く途中、転倒した。	711	2	300 ～
2004	8	～ 14	アパートの入居者退去後の清掃作業中にボタンという音がしたので、同僚が見に行くと浴室を清掃していた被災者が、浴室を出たところで倒れていた。	514	12	1～9
2004	12	～ 10	窓拭き作業に従事していた被災者は、高さ1.2mの擁壁を乗り越えてひさしからベランダへ移動するため、タラップが取り付けられている場所を登って擁壁を越えようとしたところ、バランスを崩しベランダに転落した。	418	1	1～9
2004	4	～ 10	ビル内ダストシュートから投棄されるゴミを集積する地下2階において、被災者は当該ゴミを圧縮するために設置されたゴミ圧縮機械を操作していたところ、誤って当該機械のホッパー内部に入り込み、挟まれた。	169	7	30～ 49
		0				300

2004	10	1	自転車で行行中、電柱に左ハンドルが接触し転倒した。	362	17	～
2004	5	14 ～ 15	ビル（10階建）6階フロア窓清掃作業において、室内から窓枠に足をか け、体を外に乗り出して窓拭き作業を行っていたところ、約17m下の地上 に墜落し死亡した。	418	1	1～9
2004	12	22 ～ 23	ショッピングセンターの清掃業務を終え会社に向かい車を運転中、先行し ていた同僚の運転する車から清掃道具が道路へ落下したため、停車しその 清掃道具を回収していたところ、後続車にはねられた。	231	17	50～ 99
2004	12	4 ～ 5	消火設備の点検作業において、テスト用ボンベが配管から外れて窒素の圧 力により勢いよく転倒したため、付近にいた被災者に激突した。	319	6	1～9
2004	8	10 ～ 11	ビル2階通路上より、はしごを設置し、ガラスクリーニング作業を行って いたところ、バランスを崩し、墜落した。	371	1	10～ 29
2004	11	4 ～ 5	高速道路の本線上でカラーコーンの撤収作業に従事していたところ、背後 から時速80kmで規制帯域に進入してきた13 tトラックに激突された。	221	17	1～9
2004	8	14 ～ 15	ビルの消防検査に立ち会っていた被災者が、8階のベランダに設置された 避難器具（体にベルトを装着して地上にゆっくりと下降する緩降機と呼ば れるもの）の下降試験をするため、ベルトを装着してベランダの外に身を 乗り出したところ、1階のコンクリート屋根上に転落した。	391	1	10～ 29
2004	9	13 ～ 14	雑居ビルのエレベーター1階外扉についたキズの状況を確認し、キズつい た扉の交換のための採寸作業を行うため、一人で雑居ビル内で作業中にエ レベーターピット内で墜落した。	418	1	10～ 29
2004	7	10 ～ 11	マンションの塔屋上の高架水槽を点検清掃し、ひさしの上に移り、道具を 下ろす準備中にマンション屋上に墜落した。	418	1	1～9

2004	6	9 ～ 10	マンションの共用部分の清掃作業の準備をマンション出入口の前で実施していた時、マンションの屋上33mの所から墜落して来た女性が被災者に激突した。	921	4	1～9
2004	4	13 ～ 14	屋内ロビーの窓ガラスを清掃作業中、はしごから墜落した。	371	1	10～ 29
2004	8	23 ～ 24	ライトバンを運転中、直線道路で何らかの原因で蛇行状態となり、対向車線にはみ出し対向の乗用車と正面衝突し、その後、路肩に転落した。	231	17	1～9
2003	12	13 ～ 14	病院5階の階段部分の窓拭き清掃作業で、建屋外部へ出て作業を行っていた5階からアスファルト面に転落した。	418	1	30～ 49
2003	12	10 ～ 11	地上4階建の職員寮において、4階塔屋の上にある高架水槽の清掃を行ったのち高架水槽の点検をしていたときに、高さ約13mの高架水槽の天板または高さ約11mの塔屋の上から地上へ墜落した。	418	1	100 ～ 299
2003	12	8 ～ 9	常駐警備員が立体駐車場の入庫車を搬器に乗り込んで誘導しているときに、搬器の隙間から地下3階まで約15m墜落した。	214	1	10～ 29
2003	12	8 ～ 9	マンションの館内巡回を終え、管理室の戸を開けて入室したときに、床に設けられた点検口からピット床まで約4.3m墜落した。	414	1	100 ～ 299
2003	11	7 ～ 8	ビル5階で火災が発生し、ビル内で清掃作業をしていた者が死亡した。	351	16	1～9
2003	11	17 ～ 18	勤務先で不足した清掃道具を補充するため、保管場所である会社出張所に自転車で向かっているときに、市道から脇道に入ろうと左折してきた大型ダンプにひかれた。	221	17	30～ 49

2003	10	13 ～ 14	脚立（高さ3m）上で窓拭きを行っていたときに、高さ約2mの位置から墜落した。	371	1	50～ 99
2003	10	15 ～ 16	6階建テナントビルの清掃作業で、屋上にある丸環に補助ロープ（ポリエチレン製、直径15mm）を取り付け、ブランコでビル5階の外側窓を清掃していたときに、ロープの養生を行なっていなかったためロープが切断し約15m下に墜落した。	379	1	10～ 29
2003	8	19 ～ 20	花火打ち上げ筒10本を束ねた発射装置で花火玉を順次打ち上げていて、5発目の花火玉を打ち上げるときに打ち上げ筒内で何らかのトラブルが発生したので筒内をのぞき込んだときに、打ち上げ用の黒色火薬に点火していたため花火玉が発射され頭部および顔面に当たった。	511	4	1～9
2003	8	10 ～ 11	工場の屋根上にある換気扇の清掃作業の事前確認のため、同僚とともに屋根上で写真撮影を行っていたときに、スレート葺の屋根を踏み抜いて約8.5m下のコンクリート床へ墜落した。	415	1	1～9
2003	7	9 ～ 10	建物3階の外側の窓を拭いていて、10.8m下の地上に墜落した。	418	1	10～ 29
2003	7	15 ～ 16	窓ふき作業中に建物の下から休憩の合図があったので、バルコニーの parapet 部から身体を持ち上げて下を見たのち降りるときに転倒して首を骨折した。	418	2	1～9
2003	7	15 ～ 16	公立の作業所の構内において、高さが7.2mの作業場または通路から地面に墜落した。	416	1	1000 ～ 9999
2003	6	0 ～ 1	ブランコを使用してのビル（6階建）のガラス清掃で、通常使用する18mmロープを使わず16mm径ロープ（ライフライン用）を使い作業していたため、ロープが建物 parapet 端部で切断され、6階付近より18.5m下のビル前方のアスファルト歩道に墜落した。	379	1	10～ 29

2003	6	15 ～ 16	9階建ビルの窓ガラス清掃で、屋上搭屋のパラペット部で下方の窓ガラス清掃に使用するためのブランコ（ベンチ）をセットする際にライフラインを使用していなかったため約38m下の駐輪場の屋根に墜落した。	418	1	1～9
2003	5	19 ～ 20	工場出庫口の扉が開閉不能になったので、高さ2.95m上にあるシャッターレールに載ってワイヤ巻きドラムの乱巻状況を確認していたときに、墜落してコンクリート床に頭部を強打した。	418	1	30～ 49
2003	5	13 ～ 14	ビル（9階建・高さ約31m）の窓ガラスをブランコで清掃する作業で、2回目の作業に取り掛かる前に、まず、ライフラインを次の作業個所に移設し、次にメインロープ等を運搬しているときに墜落した。	418	1	1～9
2003	5	8 ～ 9	地下鉄駅構内において、清掃作業に従事していた者が階段の踊り場に倒れていたところを通行人に発見された。	413	1	30～ 49
2003	4	15 ～ 16	マンション敷地内で、樹木に引っ掛かった居住者の洗濯物を取るため木に登り、洗濯物を取り終えて降りるときに、脚立を伸ばしたはしごに足を掛けたところでうずくまるような姿勢になり、そのまま、1.9m下の地面に墜落した。	371	1	1000 ～ 9999
2003	4	10 ～ 11	百貨店の5階催事場で行われている物産展会場の流し配管が詰まったので2名で復旧作業を行い、仮復旧したため同僚は別れたが昼過ぎになっても事務室に戻ってこないのを捜していたところ、6階屋上から約8m下の4階屋上に転落し倒れているのを発見した。	418	1	10～ 29
2003	4	10 ～ 11	管理事務所2階の外側で、はしごを使い窓拭き作業をしていて、はしごとともに転落した。	371	1	1～9
2003	3	15 ～ 16	現場での作業を終了して国道をバイクで走行中、青信号でUターンした相手のトラックに青信号で直進して衝突した。	231	17	1～9
		13	7階建ビルにおいて、脚立を使用して5階の観音開きになっている窓を清掃			10～

2003	3	～ 14	中に、15.8m下のコンクリート地面に墜落した。	418	1	29
2003	2	9 ～ 10	校舎3階にある男子更衣室で、校庭側窓ガラスを拭いているときに、8.5m下の地面に墜落した。	418	1	1～9
2003	2	14 ～ 15	ゴルフ場内を流れている河川で、お客を渡す仕事中に第二渡船場で船が棧橋から離れたので止めようとして川に入り溺れた。	713	10	100 ～ 299
2003	1	19 ～ 20	仕事で出勤する前に、ユニットバス内に入ったときに死亡した。	911	90	10～ 29
2003	1	13 ～ 14	機械式地下駐車場の消火設備を点検中、消火設備が作動したために酸素欠乏状態になった。	391	12	10～ 29
2003	1	5 ～ 6	普通貨物自動車で行中、センターラインを越えて対向の4tトラックと正面衝突した。	221	17	1～9
2002	12	14 ～ 15	マンションの駐輪場において、脚立を閉じた状態で立て掛けて地面より2.5m上に設置されている電灯（直管蛍光管）の交換中に転落した。	419	1	300 ～ 499
2002	11	16 ～ 17	歩道を横断歩行中に右折してきたトレーラーに轢かれた。	221	17	1～9
2002	11	13 ～ 14	ビル設備管理を行っている者が工事の立会いで出勤したが勤務終了時間になっても戻らないため探したところ、隣接する建物の敷地内で倒れていた。なお、倒れていた上部の塩ビ製屋根は壊れており、鋸と剪定した木と塩ビ製屋根の破片が散らばっていた。	415	9	1～9

2002	3	11 ～ 12	7階建の雑居ビル（高さ約26.5m）の窓の清掃のため、ブランコ作業の準備を行っていて屋上から墜落した。	415	1	1～9
2002	10	17 ～ 18	ビル内の定期巡回に出ていた者が事業所に戻らないので同僚が探しに行ったところ、9階の改装中のフロアで窓枠の下敷きになっていた。	719	4	300 ～ 499
2002	7	10 ～ 11	ビルの裏側にある駐車場とビルの間にあるドライエリア（非常用通路）の清掃作業を行うため、梯子を降りている（もしくは上っている）ときに転落した。	371	1	10～ 29
2002	10	14 ～ 15	マンション屋上の手すりにロープを結び窓拭き用ブランコを用いて窓拭き作業中、手すりに結んでいたロープがほどけて高さ約16.05mのところから墜落した。	391	1	10～ 29
2002	8	7 ～ 8	2階から1階玄関エントランスにせり出している段飾り（2段）内にある植木鉢の清掃と水遣り作業中、上段から下段に移動しようとして約4m下の1階フロアに落下した。	418	1	100 ～ 299
2002	8	11 ～ 12	大学正門のフェンス設置工事において、歩道の片側交互通行の誘導を行っていたガードマンが足の屈伸運動を2～3回行っていて急に倒れ、縁石（コンクリート製）に後頭部を打ちつけた。	419	2	300 ～
2002	4	9 ～ 10	ホテルの4階客室のガラス窓をスクイジ（窓を拭くT字の器具）を用いて拭く作業で、窓から外に出て約1m離れた外部柱と躯体を繋ぐコンクリート梁（幅70cm）に移り作業を行い、客室内に戻ろうとしたときにバランスを崩し9.8m下の地面に墜落した。	418	1	300 ～ 499
2002	3	5 ～ 6	会社から作業車を運転して作業現場へ向かって走行中、交差点前方（駐車禁止区域）に駐車中の大型トラックに追突した。	231	17	10～ 29
		11	給食センターの天井裏で、空調ダクトのフィルター交換の補助作業を行っていて天井床（格子状のアルミ製梁に石膏ボードがネジ止めされて断熱材			30～

2002	10	12	が敷詰められている)に載ったときに石膏ボードを踏み抜き、さらにアルミ製梁の取り付け部分が外れたため4.5m下のコンクリート床に墜落した。	415	1	49
2001	9	17 ～ 18	プールの清掃作業中の者がプールのコースロープを抱えたまま死亡しているところを巡回中の警備員に発見された。	999	90	10～ 29
2001	11	13 ～ 14	地上3階建ビルの外側の窓の清掃作業で建屋内から窓を開け外側にある幅33.5cmの底に片足をかけ半身を乗り出して作業していたときに、足を滑らせて、14.24m下のアスファルトの歩道に墜落した。	416	1	10～ 29
2001	10	10 ～ 11	窓清掃用のブランコを使用して7階窓(高さ20m)を清掃中、躯体屋上部でブランコを固定していたロープの結び目が解けて地上に墜落した。	379	1	10～ 29
2001	10	13 ～ 14	7階建ビルの外窓清掃作業中に、作業箇所を移動するためブランコを取り付けるロープ先端のフックを付け替え、作業を開始しようとビル屋上のパラペット上に乗り身体を傾けたところ、フックがかかっていなかったため約25m下にブランコとともに墜落した。	418	1	10～ 29
2001	9	10 ～ 11	4階建校舎の外周透明ガラスの内外を2人組みで清掃していて、3階の一部が終了し職長から休憩の指示を受けたので通路の手すりを乗り越えたときに高さ6.65mの3階のひさし部分から地上に墜落した。	415	1	10～ 29
2001	9	9 ～ 10	清掃担当地区へ向かうため団地を縦断する公道を横断中、マイクロバスにはねられた。	231	17	1～9
2001	8	11 ～ 12	小学校の校舎3階の窓を窓枠の外側に立って清掃していて、足を滑らせ高さ8.7mの箇所から地上に墜落した。	418	1	50～ 99
2001	5	21	ビルの清掃作業を終了し、3階にある更衣室から従業員専用の階段を降りていたときに、3階への階段の途中から2階踊り場に転落した。	413	1	100 ～

		22							299
2001	6	10 ～ 11	地下2階において高さ約1.7mの脚立を使用し、約2.7mの高さにある給水管と滅菌槽をつなぐバルブの修理をされていて脚立より墜落した。	418	1				10～ 29
2001	5	17 ～ 18	ホテル内の清掃作業のため廊下において塩酸含有の洗剤を入れ、更に次亜塩素酸ソーダ含有の漂白液を誤って継ぎ足したところ塩素ガスが発生し吸入した。	514	12				30～ 49
2001	4	14 ～ 15	ビル塔屋上の冷却塔の点検及び冷房使用開始前の機械の清掃を行い、冷却塔内部から出たごみを集める作業をされていて、塔屋床より4m30cm下の屋上床に転落した。	416	1				10～ 29
2001	2	11 ～ 12	ブランコに乗って体育館の窓拭きを行っているとき、メインロープとブランコを結んでいるシャックルが外れ墜落した。	379	1				1～9
2001	4	13 ～ 14	競輪場のメインスタンドにおいて、3階及び4階の窓ガラス清掃を外側から行うため、ブランコに腰を掛けて屋上(高さ24.9m)から降下(あるいは清掃しているとき)に地上に墜落した。	379	1				10～ 29
2001	4	15 ～ 16	イベント場の駐車場の自動車用エレベーターの搬器上に進入してきた乗用車の誘導を行っていて、建屋内壁と搬器端との50cmの隙間から約10m下の地下ピットに墜落した。	214	1				10～ 29
2000	10	14 ～ 15	管理人として勤務しているマンションから出納業務のためバイクで走行中、交差点に赤信号で進入し、走行してきた乗用車と衝突した。	231	17				300 ～
2000	5	13 ～ 14	病院の窓の清掃で、屋上のリングに親綱を結び、それに取り付けたブランコに乗ってパラペット端から約1m降りたところで屋上にいる職長から清掃道具を受け取ろうとしたときに親綱がほどけ、約30m下の1階事務所屋上に墜落した。	379	1				10～ 29
		9							10～

2000	8	～	草刈り作業中に、高さ約5mの石垣上から下方の側溝に転落した。	418	1	29
2000	4	～	13 特別高圧受電設備(33, 000V)を停電し、開路した開閉器付近碍子の清掃作 業を行っていたときに、近接する活線(33, 000ボルト)に接近して感電し 14 た。	351	13	50～ 99
2000	6	～	11 8階建マンション屋上の高架水槽の点検中に約35m下の1階地面に墜落し 12 た。	418	1	100 ～ 299
2000	3	～	10 ホテルの地下2階立体駐車場において、水漏れ点検のため移動中に後方か 11 ら移動してきた台車(車輛を移動する台)とコンクリートの角との間にはさ まれた。	229	7	100 ～ 299
2000	10	～	11 産業廃棄物(原毛に付着している夾雑物等を固めたもの)の処理場から出る 12 雨水を処理するための浄化槽の内部を掃除のため、バキュームカーで内部 の水を抜いたのち梯子で内部に入ったところ、気分が悪くなり救助に入っ た同僚共々意識を失った。	514	12	10～ 29
2000	10	～	11 産業廃棄物(原毛に付着している夾雑物等を固めたもの)の処理場から出る 12 雨水を処理するための浄化槽の内部を掃除のため、バキュームカーで内部 の水を抜いたのち梯子で内部に入ったところ、気分が悪くなり救助に入っ た同僚共々意識を失った。	514	12	10～ 29
2000	5	～	16 病院のフロア、トイレ、窓等の清掃作業で、清掃作業に必要なガムテープ 17 等を近くのスーパーへ買いに行き戻るため県道を渡っていたときに軽乗 用車にはねられた。	231	17	1～9
2000	11	～	10 マンション屋上の床面をホースで散水清掃作業中に、ホースに足を取られ 11 転倒し階段から墜落した。	413	1	100 ～ 299
2000	9	～	9 新築直後のビル6階の窓ガラスの清掃中、外側のガラスを清掃するため外 側に出て作業していて安全帯を架け替えようとしたときに約16メートル下	416	1	10～ 29

		10	の同ビル2階渡り通路の屋根に墜落した。			
2000	6	11 ～ 12	7階の窓ガラスの外側の清掃を、部屋の内側から手を伸ばして行っていて墜落した。	418	1	50～ 99
2000	10	15 ～ 16	8階建ビルの外部窓ガラスをブランコを使用して清掃中、屋上の端でバランスを崩し、27m下の路上に墜落した。	418	1	10～ 29
2000	10	11 ～ 12	5階建ビルの窓ガラス清掃中、次の窓ガラスを清掃しようと移動をしたときに、約14m下の道路面に墜落した。	418	1	50～ 99
2000	10	16 ～ 17	マンションの塔屋屋根上にある断水した高架水槽の修理に立合い、その後タラップを降りる途中で墜落(4m)した。	371	1	50～ 99
2000	9	19 ～ 20	屋上の雑草取りを行ってごみ袋に入れて屋上に置いたままにしていたが、夜になってから風が強くなってきたのでごみ袋が気になり、屋上に行つて墜落した。	418	1	100 ～ 299
2000	9	15 ～ 16	落雷で停電したエレベーターの復旧作業中に、立ち会っていた建物設備管理会社の作業員がエレベーターシャフト内を覗き込んでいてバランスを崩して中にエレベーターシャフト内に墜落し、エレベーター搬器上部に頭部を強打した。	214	1	100 ～ 299
2000	8	8 ～ 9	3階の階段をモップで清掃しているときに、踊り場の3～4段目の手前から踊り場に仰向けに落ち、頭を強打した。	413	1	50～ 99
2000	6	18 ～ 19	立体駐車場の地下にある揚水ポンプの6ヵ月点検中に、駐車場利用者が起動スイッチを入れたので外に出られなくなることをおそれ、駐車場利用者にスイッチを止めるよう告げるためカーリフトの隙間から頭を出したときにカーリフト間に挟まれた。	391	7	1～9

2000	6	9 ～ 10	7階建の建物で、ブランコにより窓ガラスの清掃作業をしていてブランコ、ロープとともに墜落した。	379	1	50～ 99
2000	3	9 ～ 10	ビル外側のガラス清掃で、7階屋上においてブランコの取付作業中に墜落した。	415	1	1～9
2000	12	13 ～ 14	建物の出入口にある外灯(高さ4m)の電球交換をしていて梯子から墜落した。	371	1	300 ～
2000	7	13 ～ 14	マンションの共用スペースの清掃をで、最上階(9階)のフェンスの外の排水溝及び側溝の掃除を終え、フェンス内に戻ろうとしたときに足を滑らせて地上に墜落した。	415	1	1～9
2000	8	10 ～ 11	機械室にある給湯設備の電磁弁を新しいものに交換する作業で、鉄製のポンプ架台に腰掛けて素手でペンチにより活線を切断しようとして感電した。	351	13	100 ～ 299
2000	6	6 ～ 7	厚板工場の事務所の清掃作業に行くため自転車に乗って構内道路(幅8m)の左端を走行中に、トレーラーにひかれた。	221	7	30～ 49
2000	5	9 ～ 10	前日に浄化槽の調整槽(深さ約4.5m)の水位を計測した器具が槽内に引っかかり外れなくなっていたため、槽内に脚立を立てて下りていたときに、体に異常を感じて戻ろうとしたが、そのまま深さ約1.3mの汚水が入っていた槽内に転落した。	513	12	10～ 29
2000	10	7 ～ 8	工事現場の警備業務のため乗用車で国道を走行中、対向車線にはみ出したため対向のトラックと衝突した。	221	17	50～ 99
2000	10	11 ～	非常通報機の配線切替え作業を終えライトバンで走行中、対向のライトバンが車線をはみ出してきたため衝突した。	231	17	1～9

		12				
1999	9	16 ～ 17	エレベーター搬器の上で、床清掃中に流れ落ちた水を吸い取っていたときに、エレベーターが動いたため上から降りてきたカウンターウェイトに体をはさまれた。	214	6	300 ～ 499
1999	4	19 ～ 20	ショッピングセンターの警備に就くため市道を乗用車で走行中、交差点のところで右側の民家のブロック塀に激突した。	231	17	300 ～
1999	12	10 ～ 11	3階にある食堂の窓の外側を清掃するため内側から外側に出たときに足元が滑り、7.1m下のアスファルト舗道に墜落した。	416	1	10～ 29
1999	10	7 ～ 8	ビルの屋外に設置してある非常階段の13階と14階の間の非常灯の電球を取り替えて、脚立(高さ174cm)の上で作業を行っていたところバランスを崩し、非常階段の踊場の手すりを越えて約50m下の地面に墜落した。	371	1	10～ 29
1999	11	11 ～ 12	6階建ビルの外窓ガラスの清掃作業を一人乗り用のブランコで行っているときに、ビル屋上に固定していたブランコのメインロープが外れ、6階付近から約22m下の地面に墜落した。	379	1	100 ～ 299
1999	8	10 ～ 11	ポンプ場管理棟(RC2階建)の清掃作業で、2階西側ガラス窓(2枚の引き戸タイプ)を外部より梯子先端に昇って拭いていて、約5.2メートル下のアスファルト舗装面に墜落した。	371	1	50～ 99
1999	8	13 ～ 14	エレベーター8機の保全点検で、同僚と2人で2台目のエレベーター(同一シャフトに3機のエレベーター設置)点検しているときに、隣のエレベーターのカウンターウェイトと梁(H型鋼)との間に挟まれた。	214	7	1～9
1999	3	9 ～ 10	ビル清掃員が、出勤してきた同ビルテナントの社員に12階エレベーター前廊下で右側頭部を床に付けて倒れているところを発見された。	417	2	10～ 29
1999	7	8 ～	大学構内の駐車場に駐車しようとしたところ、運転を誤って駐車中の車に接触し、その弾みで20m先の図書館の壁に激突した。	231	3	50～ 99

		9				
1999	7	16 ～ 17	屋根が全面ガラス(屋根広さ24m×37m, 1枚のガラスは1.2m×0.8mで厚さは6.7mm、ガラス枠の6cm)の枠の上でガラス清掃中、枠を踏み外してガラスの上に乗ったため、ガラスを突き破り約10m下のコンクリート通路部分に墜落した。	415	1	50～ 99
1999	5	13 ～ 14	ビルの3～4階で階段の掃除をしていたときに、階段の途中から3階踊場に転落した。	418	1	100 ～ 299
1999	1	16 ～ 17	ゴミ集積所において、ゴミ出し作業を行うため、2台の作業車を一時停車して5人が作業を行っていたところへ、左後方から走行して来たワゴン車が作業帯に突っ込み、5人を次々にはね飛ばした。	231	17	1～9
1999	4	11 ～ 12	守衛室内の清掃作業を終えた清掃員が横断歩道を別の建屋に向かって歩行していて、トラックにひかれた。	221	6	10～ 29
1999	3	8 ～ 9	駐車場で来客者の車の誘導を行っていたときに、後方に転倒し頭部を強打した。	921	2	100 ～ 299
1999	4	9 ～ 10	高さ5mの集塵機の上に乗って天井を清掃作業中に、床面に墜落した。	169	1	50～ 99
1999	1	0 ～ 1	ビル屋上の貯水槽の定期清掃及び点検業務で、作業を終了し最後の点検を貯水槽が乗せられている台の上に立ち行っていたときに、足を踏外して、貯水槽の載っているエレベーターホールの塔屋から、屋上まで墜落した。	418	1	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。